大正九年十二月十四日 第三種郵便物認可

新京日日新聞

朝刊

【本紙朝夕刊十二頁】

本紙定價 一部五錢 一ケ月壹圓
廣告料金 普通 一行 壹圓五拾錢 特別 一行 貳圓五拾錢

發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯局專用（３）三二二五 營業局專用（３）三二〇〇

發行人 松本 忠勇
編輯人 河内 榮
印刷人 水越 之介

敵の要衝續々潰ゆ

平綏線の確保近かし

張家口方面の敵軍粉碎され

退路斷たれた敵、袋の鼠

【北平廿六日發國通】連日空陸相呼應して猛攻撃により張家口の百四十三師、柴溝堡の八十四師懷來の第四師永寧附近の八十九師等平綏線一帶に蟠居の敵は徹底的打擊を受け中には一大隊中生存者僅かに二十餘名といふ有樣だが、殊に去る廿四日精鋭を誇るわが飛行隊の大擧爆擊により退路を斷たれた敵は全く袋の鼠となり徒らに右往左往するのみ、逃げ遲れた敵兵は懷來盆地および柴溝堡方面に死人の山を築きつゝある、廿四日〇〇機の報告も朝來西灣堡より後退の敵兵滿載の列車六七輛を發見、直ちに痛烈なる爆擊を行ひこれを粉碎した、かくて平綏線確保は目睫の間に迫つた

〔敵軍配備狀況〕

【南口廿六日發國通】平綏線方面における敵軍配備狀況は次の如くである＝鐵道西側より長城線以南には第廿一師および九十四師の各一部が居り、長城より北西にかけて第四師の主力、第七十二師は鐵道東側にあり、第十九師と第廿一師の一部および第九十四師の一部、總計約四ケ師におよぶ大部隊いづれも峻嶮なる山嶺に據り頑强なる抵抗を續けてゐる

敵軍全線に亘り大動搖

續々南翔方面に退却

【東京國通】海軍省副官談（午前十一時半發表）

一、二十五日來上海方面のわが陸戰隊は敵を掃蕩、漸次進擊を開始してゐる、敵は全線に動搖を來し閘北方面よりは既に數十名づゝ一團となつて南翔方面に退却をはじめてゐる模樣である

二、二十五日〇〇海軍航空部隊〇機は上海上空警戒中午後三時頃來襲せる敵マルチン型重爆擊機三機と交戰、内二機を擊墜し他の一機には損害を與へ遂に虹橋飛行場に不時着の已むなきに至らしめ、わが機はこれを追及、爆擊灰燼に歸せしめた

孔家庄驛を急襲して

第二百九十團を殆ど殲滅

【張北廿六日發國通】〇〇部隊主力が萬全の敵を包圍攻擊中長城線を突破し敵の左翼を迂回せる〇部隊は廿三日夕早くも平綏線平地に進出、直ちに孔家庄驛を急襲し同驛の山西軍六十八師三百九十九團を攻擊、これに殲滅的打擊を與へ西南地區に潰走せしめたこの戰鬪において〇部隊は三百九十九團團旗および兵器彈藥を滿載した貨車二十五輛を鹵獲した

寫眞

（上）勇躍〇〇を爆擊に向ふ我が海軍〇〇隊に出動前の訓示（海軍省貸下）
（下）南口の激戰に慘敗し我が軍の長驅張家口占領に依り退路を斷れた支那軍敗殘兵は八達嶺の天嶮に立籠り我が〇〇隊の爆擊に脅えながらも天險をたのみに最後のあがきを續けてゐる、寫眞は八達嶺の天嶮

戰死者並重傷者

【北平廿六日發國通】〇〇部隊の戰死者ならびに重傷者左の如し

△十七日服部准尉、足立曹長△十九日中川准尉、木村曹長、兵藤伍長、小嵐隊長（重傷）△廿二日小寺軍曹伊伏伍長、石川隊長（重傷）

【長辛店廿六日發國通】廿五日の戰鬪における〇〇部隊の戰死者は小川少尉以下廿三名でその主なるもの左の如し

△戰死　少尉小川勉、准尉左藤祐幸、同久保源一△負傷大井大尉以下八十七名

【長辛店廿六日發國通】廿五日の平頂山總攻擊の負傷者左の如し

大江義若大尉、大木榮一少尉、井上時太曹長、川本一夫伍長、小原京一伍長、日向武雄伍長、青島義雄上等兵以下二十名

我が軍南觀村に進出

【〇〇廿六日發國通】平頂山三四八高地一帶を占據せる〇〇部隊は廿六日午前一時夜を徹しての大夜襲を敢行一擧に南觀村東西の線に進出した

懷來附近の敵兵

北平方面に潰走す

【南口廿六日發國通】〇〇部隊は二十五日午後五時懷來平原南端の十八家子を占領、引續き平綏線〇〇〇に向つて進擊、さらに〇〇部隊は二十五日夜九時大山口の水龍關に出で、これまた〇〇〇に向け敵を追擊中である、わが軍の急追に遭つて平綏線懷來附近沿線の敵は北平方面に向つて潰走しつゝあり

【南口廿六日發國通】〇〇部隊は南口西方の敵を擊滅しつゝ山岳地帶を突破し、なほも敵を追擊してゐる、二十六日午前十一時懷來縣城附近に進擊、すでにその先鋒は懷來城内に進入したといはれる

上關、八達嶺を占領

【居庸關廿六日發國通】〇〇部隊主力は二十六日拂曉より猛攻擊を開始し惡戰の後午前十時上關を占領した

【居庸關廿六日發國通】居庸關附近の支那軍は東西兩側の山嶺に據り、わが軍に向つて健氣にも數回の夜襲を試み退路を斷たれて最後の血路を開かんとするものゝ如く頑强な抵抗を續けてゐたが、〇〇部隊の先鋒を承はる〇〇〇部隊は逃げる敵を猛追しつゝ午後一時半遂に八達嶺を占領、萬里の長城高く感激の日章旗を飜へした

靜海附近の戰鬪で

敵の死傷千數百名

【天津廿六日發國通】廿六日午前十時支那駐屯軍司令部發表＝靜海縣附近における戰鬪の結果判明せる事項左の如し

一、靜海縣にありし敵は獨立第二十五旅にしてその數は約五千

一、敵は死者少くとも二百五十、負傷者一千の多きに達し、西南方に敗退せり

一、わが軍は戰死將校七、下士官五十、負傷七十

支那海遮斷の目的は

敵戰鬪力の減殺

自衞の範圍を出でず

海軍省副官談

【東京國通】海軍省は長谷川司令長官の宣言を公表するとゝもに午後零時十五分左の如き海軍省副官談を發表した

昨廿五日午後六時以後帝國海軍は支那公私船舶に對し揚子江、福州、厦門、汕頭にわたる沿岸一帶の通航を遮斷することに決した、帝國は在支邦人の生命財産およびわが權益に對する支那軍の侵害に對し自衞手段を取るを餘儀なくせられたれども當初より局面を最小範圍に限定せんことを念としてきたのである、しかるに支那軍累次の暴戻なる挑戰行爲により事態はますます重大を加ふるに至れるをもつて帝國海軍は支那の反省を促し事態を速かに安定せしめんとする考慮に基き已むを得ず右の措置を取ることに決した次第である、したがつて右實施にあたつては支那の戰鬪力減殺を主要目的とし、みだりに支那船舶または積貨等を沒收するが如きことをなす意思なく、飽くまで國際正義、立脚せる自衞的手段の範圍を出づることなし、また第三國の平和的通商はこれを尊重し、これに干渉を加ふる如き意圖を有せざるは勿論のことである

尙外務省においても廿六日同樣趣旨の發表を行つた

支那人、外國人

租界内復歸禁止を續行

【上海廿六日發國通】戰局の〇〇方面への移動に伴ひ支那人の租界内に潛入せんとするもの續出する狀態となつたがわが海軍では租界内治安はなほ充分ならずとして支那人復歸、潛入禁止を續行、外國人に對しても復歸見合せを勸告することゝなり廿六日午前長谷川第三艦隊司令長官の名においてその旨佈告を發した

英外交折衝を斷念

【ロンドン廿五日發國通】英國政府は廿五日三相會議後コムミユニケを發表、日支問題に對する從來の經過を闡明したが、英國政府の今後の實際的對策についてはロンドン外交界で各種の推測が行はれてゐる、ハバス通信社ロンドン支局は右に關する外交消息通の意見として左の如く報道してゐる

一、英國政府は過去の調停工作が失敗し且つ米國政府が國内の孤立政策主義者に動かされて英國政府に協力しさうもないので外交的折衝は一應斷念し單に英國居留民ならびに權益の保護に專念するだらう

一、米國政府は居留民引揚げの意向とみられるが、英國政府はこれにかまはずあくまで現地保護の建前をとり從つて出先軍事機關が軍隊增强を必要とみれば上海に兵力を增派するであらう

我海軍機南昌飛行場を爆擊

【東京國通】廿六日午後七時半發表＝海軍省副官談

一、わが〇〇海軍航空部隊の〇〇機は廿六日午前三時半頃南昌飛行場を空襲し約五十發の命中彈により同飛行場に多大の損害を與へたり、敵戰鬪機二機はわれを追擊し來りしもわが方に何等の被害なく全機無事歸還せり

二、去る十四日以來のわが海軍航空部隊の中支方面における空襲の成果ならびにわが軍の犧牲に關してはその都度報道せられたるところなるもこゝに昨廿五日までの分を綜合すれば△支那軍の損害　飛行機地上爆擊約百十機、擊墜六十六機、計約百七十六機、格納庫約廿五棟、他火藥、火舍、列車砲、戰車、鐵橋等を破壞す△わが軍の犧牲　飛行機十六機（行方不明を含む）

先決問題として

先づ支那を膺懲

首相、園公訪問後語る

【御殿場國通】箱根富士屋ホテルに一泊した近衞首相は廿六日午前九時半御殿場の別莊に西園寺公を訪問、組閣以來最初の會見を行ひ首相より北支事變、上海事變の最近の狀況および國際關係を詳細說明、時局に對處する帝國政府の方策と決意を披瀝して諒解を求め、ついで臨時議會を開くに至つた經緯その他を說明した、これに對し老公は時局極めて重大の折柄あらゆる部門にわたつて緊密なる連絡のもとに萬全の策を樹立し國策の遂行に邁進されるやう激勵した、かくて會談を終り同十一時過ぎ近衞首相は別莊を辭し直ちに歸京したが、近衞首相は園公と會見後語る

西園寺公にお目にかゝつたのは一年振りである、色々話があつたが、公は體がまだはつきりされないし疲れてをられる樣子だからあまり長い話は出來なかつた、日支紛爭問題については日本は不擴大、局地解決方針であつたが、支那側の暴戾によりこれを捨てゝ漸次戰線が擴大するの已むなきに至つた、このことに對しては園公も種々憂慮されてゐるやうである

憂慮するのは誰でも同じことであるが、こゝまで來れば致し方がない、老公にもその點は充分お話申上げたので諒解されてゐる、戰線が擴大されて支那沿岸遮斷まで進展して來たが帝國としては外交關係としいふことは今考へず先づ暴戾支那の膺懲方針で進んでゐるしかし支那側が眞に反省すれば外交折衝で進んでよいのであるが、今日の形勢では難かしいのであつて外交折衝方針で進むか否かは一に支那側の反省による他ない譯である有田元外相が北支の方にゆく筈であるが、これは政府とは何等關係がない、有田元外相も南支には行かないといつてをり、かねてから北支方面には行きたいといつてゐたので今回の北支行は全く私的な

旅行

である、外交關係では英國が上海を中立地帶とする提案をしたりヘル國務長官からも色々云つて來てゐるが更に戰線が進展するに伴つてこういふことが出てくるやも知れないが、それ程重大には考へてゐない、こういふ申出は他からも來るかも知れぬが、しかしこれは要するに日本の立場を充分理解してゐないからである、故に更に一層列國に對し日本の立場を徹底しせめる方法を講じたいと考へてゐる支那に對する今後の國交調整と云ふやうな問題、要するに先の見透しは云ふべきときではない、兎に角武力をもつて暴戾なる支那を膺懲して支那をして反省せしめることが先決問題である、勿論日本としては出來得るだけ問題の解決を速かならしむるため有效なる方法を講ずる考へである、しかしながら支那側としては

戰爭

を長引かせこれによつてわが方の力を各方面に働かせる方針をとつてゐるのではないかと思はれるのでこれにひつかゝらぬ樣にせねばならぬと充分決意してゐる、財政問題即ち臨時議會に提出する追加豫算については色々話が長くなつたので出なかつたが、追加豫算が二十億を越えるかどうかは未だ判らない、しかし相當巨額に上る筈である內政問題に就ては例の內閣强化又はブレーントラストといふ樣な問題も色々いふ人もあるが今のところ自分としては若い人をもつてブレーントラストを作つて支那問題などについて特に若い人々の意見を聞いて見たいと思ふ

重要産業統制令

關東州内にも公布

滿洲國に於ける重要産業統制法に步調を合はせ關東州にても同樣重要産業の統制を爲し之が健全なる發達伸展を圖るべく關東局では去る七月より之が統制令制定案作成に着手して居たが八月廿七日附を以て勅令第四六〇號關東州重要産業統制令を公布された

因に之が法規制定施行に伴ひ産業經濟の合理的成生發展を期し日滿産業經濟上の最も緊密なる地域的關係から見て保護發達上並行的成果を納め得るもので、從つて企業活動上明確なる指標を得たものである

訓令あり次第

青島居留民引揚げ

【青島廿六日發國通】青島居留民引揚げにつき下村第〇〇戰隊司令官は語る

居留民の引揚げ命令は外務省から訓令がある筈で、その命令が出次第司令官としての聲明をするが、自分としては用兵作戰の見地から三日間位の間に引揚げて貰ひ度いと思ふ

陸軍異動

【東京國通】廿六日午後五時陸軍省發表

補敎育總監　陸軍中將　畑　俊六

參軍事參議官　陸軍中將　蓮沼　蕃

補中部防衞司令官　陸軍中將　飯田　貞固

補近衞師團長　陸軍中將　吉住　良輔

補第九師團長　陸軍少將　安藤　麟三

補東京灣要塞司令官

中部防衞司令官は從來缺員なりしが今回專任司令官が設けられ、これに伴ひ一部の異動を見たり

關東軍經濟顧問

相馬氏來京

大藏省專賣局販賣課長より關東軍經濟顧問に內定の相馬龍雄氏は廿六日午後六時三十五分着あじあで驛頭西村經濟部次長、稻垣經濟顧問ほか多數の出迎へを受けて小平農林省更生部長等と同車來京したが關東軍顧問に就任するのは東京で話しがあつた程度で正式に決定してゐない、今度の來滿は滿拓公社創立の政府委員として出席のためだが北滿方面も視察したいと思つてゐると語つた、なほ同氏は長野縣の生れ大正十一年の東大出で大藏省に入つた秀才である

【寫眞は驛頭にて】

滿鐵北支事務局

人事發表

【大連國通】滿鐵では北支における業務多端となつたので過般の滿鐵重役會議の決定に基き二十六日附をもつて天津に總裁直屬の北支事務局を設置し、從來の天津事務所の業務一切を停止して北平事務所は新事務局の管理の下に事務を續けることゝなり、北支事務局に關しては宇佐美理事が中心となり差當り天津に駐在することゝなつた、なほ北支事務局長以下これに伴ふ人事は二十六日附をもつて左の如く發表された

鐵道總局調査委員會委員長　杉　廣三郎

北支事務局長を命ず

總裁室人事課長　石原　重高

北支事務局次長を命ず

天津事務所長　伊藤　武雄

上海事務所長を命ず

鐵道總局文書課長　人見雄三郎

總裁室人事課長を命ず

鐵道總局人事課長　沖田　迅雄

文書課長兼務を命ず

大連鐵道事務所庶務課長　菊田　直次

〇〇班長　天津事務所庶務課長　神崎　登

〇〇班長　鐵道總局監察　芳賀千代太

〇〇班長　鐵道總局調度課長　伊藤　成章

〇〇班長　滿鐵弘報課第二係主任　水谷　國一

〇〇班長　天津事務所調査課長　阿部

〇〇班長　鐵道總局電氣課長　山本

〇〇班長

石橋電業經理部長歸京

滿洲電業公司經理部長石橋米一氏は增資問題について日本政府、財界方面と打合せのため東上中であつたが五十日振りに二十六日午後六時三十分着あじあで歸京したが驛頭において語る

北支事變勃發直前に東京に着いたので各方面が頓に忙しくなつてこつちの話は遲れたが、增資問題は大藏省對滿事務局その他關係官廳に對して說明をなして大體了解はうけた

偏語

日支事變勃發以來內地では支那に關する書籍地圖類が飛ぶやうな賣行きを示し▼各書籍商ではその賣上利益を國防獻金しやうといふ床しいニユースがある▼新京でも事變勃發するや早速書籍店に馳けつけて支那地圖を求めやうとすれど役に立ちさうなものはどの店にも殆んど持合せがない▼ついに、上海事變が勃發した、上海の地圖が欲しいと探しあぐねど支那地圖以上に探し出すことが難しい▼何とかならぬものかと店に掛けあへば一ケ月位かゝつてもよければ取つて見やうが一枚二枚の端數では困るといふ▼全くその商賣氣のないのに呆れて二の句がつげ・かつた▼國都の邦商は今少し舊殼を脫することを考へないと粒々築いた商權を奪はれはしないか

社説

事變と支那經濟の動き

一

日支戰局の展開に關聯してわれわれは支那經濟の動きに注意することを怠るべきではない。こゝには爲替、幣制の問題を取り上げて見やう。今後戰鬪が擴大して、財政的にも政治的にも南京政府が重大な打擊を蒙るに至れば、新幣制が根本から動搖し、從つて支那の幣制が再び非常な混亂に陷るであらうことは明白である。現行の幣制は言ふまでもなく政府の統制力と信用とが强固な限り維持されるものであつて、ひとたびそれらが動搖すれば自から新幣制も動搖を免れない。五年前の上海事變當時に於いては、銀行は全部閉店して金融は杜絕してしまつたが、爲替は銀本位制度のおかげで維持出來た。しかし今は事情が異つてゐる。爲替は政府が維持するのであるから、政府の統制力の弱化は直ちに通貨の價値に反映する。ただ爲替の崩落が何時來るかについては若干の見逃すべからざる事情も存する。

二

すでに今回の事變前でさへ上海の二流銀行中には閉店休業のやむなきに至つたものが二三あつた。錢莊、商社で破産休業に至つてゐるものもある。しかしそれだけでは爲替は崩落しない。外貨資金は平常の爲替の取引高に比較すれば相當潤澤であり事變前に約二億元位はあつた筈である。また爲替管理も實施されてゐて、正常な實需以外の外貨買ひは許されぬことになつてゐる。國際收支も一概に惡いとばかりは考へられない。故に支那人自體の資本逃避が抑へられさへすれば爲替の維持は必ずしも不可能とは言へない。殊に近年政府銀行の位地は急速に强化されて昨年末の統計では在上海全銀行預金のうち七割弱は政府系四銀行によつて占められてゐた。支那銀行から預金を引出してこれを外貨に換へ外銀に預けやうとしても、忽ち政府の戰時財政法に引懸つて預金の引出さへも出來なくなるであらうし、民間銀行に對する管理も今日では相當行屆いてゐる。

三

政府銀行に對する信用が失墜するのは、戰費のため紙幣を濫發する場合である。その時は恐らく民間銀行も戰爭の破壞的影響を蒙つてゐるであらう。むしろ外國銀行の通貨の流通圈が擴大される可能性が考へ得られる。不安が南京政府の統治力に關して來れば問題は決定的である。何れにせよ、支那の財政、金融、經濟の一般が非常な危機に直面してゐることは明らかである。政府公債の如き連日の低落を阻止するために政府は最低相場を公定したが、それずら事變前に比して何れも十元以上の下値であつた。しかも實際はすべてノミナルで立會は殆ど停止されてゐる。今後の動きに注視を要する所である。

オリンピツク大會に 馬術參加中止 廿五日陸軍省發表

【東京國通】第十二回オリンピツク東京大會馬術競技參加の陸軍側代表選手西竹一大尉、岩橋學大尉、佐川大尉、篠尾中尉、鹽見中尉、横山中尉、萩原少尉の七選手は時局に鑑み參加を中止することゝなり二十五日午前十時陸軍省より左の如く發表された

陸軍省發表　第十二回國際オリンピツク馬術競技の參加に關しては陸軍はさきに規定を定めて西騎兵大尉以下七名の陸軍選手を銓衡決定し、必勝を目指して今後三年間訓練調教に從事せしめることゝなりありしも時局の擴大は遂に現役將校をしてオリンピツクの準備訓練に專念するを許さざるの情勢に立ち至りたるをもつて玆に陸軍はオリンピツク馬術競技の準備中陸軍に關するものに限りこれを中止することに決定せり

原新聞班長談　陸軍のオリンピツクに對する方針は今なほ從來と何ら變るところがない、陸軍がなし得ることであるなら今後とも從前通り出來るだけ便宜を圖つて行く考へである、しかしながら馬術代表の場合は陸軍が內部的にこれを決定したものであり、しかも御覽の通りの事變であるから、これを辭退したものである、これは內部的問題として考へて貰ひたい

東京大會は不變 既定方針に從ひ準備に着手

【東京國通】日支事變重大化に伴ひオリンピツク東京大會に優勝を期待された馬術の陸軍側代表七選手は軍內部の都合により東京大會準備を中止する旨廿五日陸軍省から發表したので、一部では東京大會準備の上に暗影を投げたの感懷くものあるが、事實は陸軍が原新聞班長を通じて發表せる如く軍部のオリンピツクに對する方針は從前通りこれを支持援助することには何等變るところなく政府としてもこの際國際的事業は進んでこれを行ひあくまでも大國民たる襟度を堅持する方針で一部に懷かれてゐる不安は全く杞憂といふべく、右につき永井事務總長は廿五日オリンピツク大會組織委員會はあくまで開催の既定方針に從ひ諸般の準備に着手する旨發表した

此母にして此子 言々句々肺腑を抉る

故山內中尉母堂の書翰

【東京國通】〇〇海軍航空隊附山內達雄海軍中尉（二七）は去る十五日長驅爆擊の壯擧に參加し〇〇空襲決行の歸途行方不明となつた、その悲報が長崎市新中川町六十一番地の母ヤスさんに齎されるや、ヤスさんは愛兒の戰死尊しと感謝感激し左の如き手紙を海軍省人事局に寄せ母としての衷情を披瀝した、この母にしてこの子あり、言々句々讀むものをして感泣措く能はざらしめるものがあり全海軍省內を泣かせた

前略　山內達雄中尉儀〇〇空襲において殁せる旨の御通知壹岐郡石田村長殿より現住所宛御轉送を得まさに拜承仕り候、あの子光輝ある帝國海軍航空士官として御奉公仕り候ことを得決死もつて護國の鬼と化しゆるぎなき祖國の御爲めに身命を捧げまつるを得候こと尊く感謝に堪へず候

謹みてあの子に代り深く厚く御禮申し奉り候、あの子は幼少のときより正しく清き心の持主にて武勇を好める性質なれば必ずや天に受くる大任あるものと信じ候

父は卑しきわが子なりと思はず御國の御子なりとしていつくしみて養育致し來りたる子に有之候、昭和九年祖國非常時に心を澄し候て海軍機のもとに馳せ參り候時すでにこの最期を明かに決意仕りをりたるものにこれあり候、天皇陛下萬歲、大日本帝國萬歲、大日本帝國海軍萬歲、戰死せる子達雄に代り母ヤス謹みて唱へ奉る

嗚呼老いゆく母月の明るきを眺めては泣かんとするか花の香ばしきを愛でゝは惱まんとするやあらず、頭を上げて空行く飛行機を見よ

あれよ、あの機、達雄永久に生きてあるよ、私なほ男兒三人これあり、育て見守りつゝ御國のお爲にはげましめんと致し候、達雄最期と雖も帝國軍人としての面目を汚さぬ戰功これあり候故み心安くおぼしめし下さいませ

達雄母ヤス

海軍省人事局　御中

英米とて所詮は夷敵 ソ聯の對支使嗾

各國充分警戒を要す 獨紙正論を吐く

【ベルリン廿四日發國通】アングリフ紙は廿四日の紙上「支那を覆ふモスクワの影」と題する論說を揭げソ聯の對支干涉の事實を次の通り列擧してゐる

一、ソ聯は察哈爾に約五十名の將校を派遣、五萬の支那正規軍を指揮せしめてゐる

一、外蒙はソヴイエト空軍を集結、極東軍司令官ブリユツヘル將軍は外蒙古の首都ウランバートルに待機してゐる

一、全支赤軍十三萬の司令官毛澤東は八月十四日香月司令官に北平撤兵の最後通牒を發し回答に接せざるや宣戰を佈告した

一、上海ソヴイエト總領事館は支那軍と通絡し發火信號を行つた

一、蔣介石氏は關知せぬと稱するが國民政府一部の政治家はソ聯よりの武器購入計畫を確認共產黨と結ぶ民族戰線を稱へ立法院長孫科の如きはソ支同盟の主唱者である

一、國民政府の陳公博、陳立夫は宋慶齡、馮玉祥等とゝもに赤色人民戰線に加擔してゐる、ついで同紙は左の如く述べてゐる、斯く觀じ來ればモスクワが極東の紛爭に介入するため軍人や記者その他多數の武器などを派遣してゐることは明瞭で英米兩國はボルシエヴイズムの極東攻勢を充分考慮しなければならぬ筈である、現在支那赤軍の交戰區域となつてゐる北支だけでも英國は二億磅の投資があるといはれるが、火災に包まれてゐる上海ではその幾倍にも達しよう、ソ聯が時を得たりと火災のさらに擴大することを望んでゐる現狀において英米は自分等の權益が安泰などと考へてはならぬ何故なら使嗾された苦力や農民の眼には英米人も佛國人も所詮白色の夷敵でしかないからである

ドイツ各紙 優秀性を絕讚 日本軍機械化部隊の

【ベルリン廿四日發國通】ドイツ各紙は日本軍の南口占領の報をいづれも第一面に揭載し支那軍の殲滅的被害を傳へ遺憾なく威力を發揮した日本軍機械化部隊の優秀性に多大の讚意を呈してゐる、一方政府筋も南口占領を許して日本軍の成功は世界に新しい政治情勢を創造したものだといつてゐる

有田元外相 滿支視察の途に

【東京發國通】元外相有田八郎氏は廿八日東京發約一ケ月にわたつて滿洲、支北方面の視察旅行に旅立つことになつたが、同氏の旅程は神戶より乘船大連にいたり、まづ北滿國境方面を視察の後、戰鬪狀態が差閊へなくば北平天津方面に廻り北支の情勢を親しく視察して來月廿日頃歸京の豫定である、右につき有田氏は廿五日夜左の如く語つた

この春外務大臣をやめた時から滿洲を見たいと思つてゐたが、九月頃が一番氣候がよいと言ふのでこの時期に旅行しやうといふ希望が實現したわけである、滿洲ではソ滿國境の實狀と集團移民の狀態を主として視察するつもりで、その後事情が許せば北支に廻るが、上海方面は今の情勢では行つても仕方があるまいし旅行の豫定は考へてゐない

鹵獲タンクの中は エロタンク 支那軍の內容に呆れる 虹口居留民の一時

【上海廿五日發國通】戰禍のもとに死の街と化した上海もわが陸軍精銳部隊の上陸で漸く蘇へり、行き交ふ邦人居留民の顏にも久し振りに明さが見えはじめた、廿五日朝軍艦〇〇部隊が鹵獲した敵の精銳を誇るタンクを虹口マーケツト前に牽引して來たので居留民達はタンクを取捲きながら萬歲を叫び、籠城十一日間の憂鬱を一時に吹き飛ばしてしまつた鹵獲したタンクは米國製の極めて精巧なもので廿五日午前八時頃碑坊路工部局附近に敵タンク一臺進擊中といふので、三日間に敵タンク三臺を鹵獲したばかりの軍艦〇〇の陸戰隊はどれ又やつゝけろとばかり正面から突進するや不意をつかれた敵兵は泡を喰つて銃彈を一發も放つどころか狼狽してわれ先にとタンクから逃げ出し、意氣込んで來た〇〇隊員は却つてあつけにとられながら易々と鹵獲したものである

タンクの內部には機關銃、手榴彈、小銃拳等もあるにはあつたが、それにもましてズロース、香水、女靴、ウイスキーが所狹しと、散亂しわが陸戰隊員を再び呆然たらしめた、指揮官の〇〇隊長が「これはエロタンクぢや」と却つて調子拔けしてゐる、隊員はドツと爆笑したが、虹口マーケツト前に外面だけ堂々たるタンクの姿を曝してゐるタンクの周圍には見物人が詰めかけ外人新聞記者、寫眞班等もやつて來てカメラに收めたが、ある外人記者は「支那新聞は今日の夕刊にこれをどう書くか見物ですね」と[illegible]太記事滿載の支那新聞に[illegible]肉を浴せた

敵前上陸に 矢住隊長 壯烈な戰死

【上海廿五日發國通】廿三日拂曉〇〇に第一回の壯烈な敵前上陸を敢行した日本軍に對し敵は岸壁の上方百米の地點に塹壕を築き一齊射擊をもつて頑强にわが軍を惱ましたが勇壯なわが軍は暗闇の中に勇猛突擊に突擊を重ねて敵陣を突破前進したが、敵兵一部はなほも頑强に塹壕內に居殘りわが軍の背後より無茶苦茶に射擊を浴びせ一大激戰を展開した、その際〇〇の前線に立つて阿修羅の如く戰鬪を續けてゐた矢住隊長は敵彈にあたつて壯烈なる戰死を遂げた、同部隊長の鬼神の如き活躍は歷史的敵前上陸の壯烈なる一ページを飾るものとして讚えられてゐる

ソ聯赤軍內に 突如叛亂

ソ聯內に捲起された反ソ分子檢擧の嵐は全く止むところを知らず、政府當局の彈壓は返つてますます反ソ分子をして反撥せしめ極東における鐵道從業員をはじめとする反ソ團體の出現すと報ぜられる折柄去る二十二日滿洲里着國際列車が約五時間延着、國鐵濱洲線との連絡に大支障を生ぜしめたが、二十五日に至り右は滿洲里驛東北方約三十キロの地點にあるアガ驛附近において突如叛亂赤兵のため襲擊されたものなることが乘客の談によつて判明今後のシベリヤ鐵道による歐亞連絡は全く不安の狀態に置かれるに至つた

シンガポール駐屯軍香港到着

【香港廿五日發國通】シンガポール駐屯ミツドル・セツクス聯隊の一大隊七百五十名は廿四日夕刻メネラス號で香港到着、上海派遣軍の空兵舍に入り待機することゝなつた、なほカルカツタ來電によれば香港、上海派遣のため待機中の同地第五、第六ラブタナ小銃隊は廿四日極東に向け出發した、また第四、第十九ヒデラバツト聯隊も近く出發の筈

カトリツク代表 哀悼の意を 通州事件殉職者に

滿洲カトリツク敎會總代表ガスペ氏は、張國務總理あて廿日附文書をもつて通州事件で痛ましくも叛亂保安隊の兇刃に殪れ壯烈な殉職をとげた外務局員田場事務官ほか六名に對し、深く哀悼の意を表し來つた

東邊道匪賊討伐費 百五十萬圓支出

去る二十三日國務院會議において決定をみた康德四年度第二準備金支出の件中三江省一圓の大討伐實施費、また北部東邊道の掃蕩を四月以降引續き行ふための治安部所管經費として政府は百五十萬圓を支出することゝなつた

帝室大典委員會 補充發令

缺員中であつた帝室大典委員會委員及び同幹事の補充に就いては廿五日附をもつて左の如く發令された

民生部大臣　孫其昌

參議　橋本虎之助

帝室大典委員會委員被仰付（各通）

尙書府秘書官長　武宮雄彥

宮內府秘書官　傅嶽芬

總務廳法制處長　松木俠

帝室大典委員會幹事被仰付（各通）

滿洲國官史 事變經過聽取

滿洲國政府では日支事變の認識を深め日滿一德一心の建前から一段と日本への協力を圓滑にするため二十五日午後二時より國務總理大臣室に特任官集合し、關東軍幕僚より日支事變の發端及び經過などにつき說明を聽取した

東京羽田少年團 滿洲國軍慰問 金送附

東京市羽田少年團は滿洲國軍を慰問したいといふ趣旨でかねて街頭募金を行つてゐたがこの程同團の代表者齋藤誠一氏は協和會を通じ金五十圓を送附し來つたので、治安部でも少年團の純情に感激してこれを受理した

七月の家畜市場

市公署行政科調査による七月中の常設家畜市場の交易統計は次の通りで同月は屠場閉散月に加へて農繁期のため概して成績不良であつた

	檢疫頭數	交易頭數	金額
馬	六〇四	四一〇	四九、五二一〇〇
騾	九七	五三	五、四三八〇〇
驢	三三	一七	四、七〇〇
牛	三三三	二〇八	一七、七三一六〇
綿羊	五五九三	三九九	一一、九九八〇〇
山羊	二七	二四	一三九八〇
豚	二一、一三六二	二、一三三	五六、六〇三〇〇
計	二三、七三九三	二、七四三	一三三、八八八四〇

中學校水泳大會

新京中學校は二十八日午後一時から本年第一回水泳大會を同校プールで盛大に開催の豫定である

北支事件特別稅實施（二） 關東局發表

第二種

一 寫眞機、寫眞引伸機、映寫機、同部分品及附屬品

（イ）寫眞機但し航空機用のもの及檢微鏡用のものを除く

（ロ）寫眞引伸機

（ハ）映寫機

（ニ）寫眞機部分品及附屬品

レンズ（シヤツター附のものを含む）、暗函（蛇腹の有無を別たず）シヤツター、フイルムパツクホルダー、可枠ファインダー、三脚臺、カラーフイルター、セルフタイマー、露出計、距離計及寫眞機用又は三脚臺用ケース

（ホ）寫眞引伸機部分品

暗函、コンデンサー、レンズ及支持臺

（ヘ）映寫機部分及附屬品

コンデンサー、レンズ、發聲裝置、フイルム卷取機、カナカラースクリーン及映寫機用ケース

二 寫眞用乾板、フイルム及感光紙

（イ）寫眞用乾板但し航空機用のもの及エツクス線用ものを除く

（ロ）寫眞用フイルム但し航空機用のもの及エツクス線用のものを除く

（ハ）寫眞用感光紙

三 蓄音器及同部分品

（イ）蓄音器（ラジオ聽取裝置を附したるものを含む）

（ロ）蓄音器部分品

蓄音器匣、サウンドボツクス、移動腕金、マグネチツクピツクアツプ、蓄音器用モーター、回轉盤、動力用ゼンマイ及蓄音器用針

四 蓄音器用レコード（トーキー用のものを含む）但し六吋以下の紙製のものを除く

五 樂器及同部分品

（イ）樂器

ピアノ、オルガン、アコーデイオン、ハーモニカ、ヴアイオリン、ヴイオラ、セロ、コントラバス、マンドリン、マンドラ、マンドリラ、ギター、バラライカ、ウクレレ、バンジヨー、フリユート、ピツコロ、クラリネツト、オーボ、バズーン、コルネツト、トランペツト、トロンボーン、アルト、バリトン、チユーバ、サクソフオーン、スザフオーン、ホルン、木琴、鐵琴、ハープ、リラ、箏、三絃、琵琶、明笛及尺八但し玩具と認めらるるものを除く

（ロ）樂器部分品

絃樂器用の絃、弓及撥

貴金屬とは金、銀、白金及此等を主なる材料とする合金を謂ふ

第一種の物品にして一個の價格三圓未滿のもの又は貴石、半貴石、眞珠若は貴金屬を用ひなる物品にして此等の部分の價格（二種以上のものを用ひたるものに付ては其の價格を合算す）が全體の價格三分の一未滿のものには物品特別稅を課せざること但し金側又は白金側の時計及金屛風に付ては此の限に在らず

八 物品特別稅の稅率は價格百分の二十とすること

物品の價格は第一種の物品に付ては小賣業者の販賣價格、第二種の物品に付ては製造場より移出するときの價格に依ること但し關東州外より輸入する物品にして引取人より稅金を徵收するものに付ては引取の際に於ける價格に依ること

保稅地域とは滿鐵埠頭構內及關東州內鐵道各驛構內並に官に於て課稅物件を藏置し得べき場所として特許したる藏置場を謂ふ

九 物品特別稅は左の區分に依り之を徵收すること

（一）第一種の物品に於ては小賣業者より之を徵收すること

（二）第二種の物品に付ては製造者より之を徵收すること

（三）關東州外より輸入する第一種又は第二種の物品に付ては保稅地域又は郵便局より當該物品を引取るとき引取人より之を徵收すること但し第一種の物品の販賣者又は製造者が第一種の物品を保稅地域又は郵便局より引取る場合に於ては稅金を徵收せず

十 關東州外より輸入する物品に付ては保稅地域相互間の運送を許容すること

十一 物品特別稅は左の區分に依り之を納付すべきこと

（一）第一種の物品の小賣業者は每月其の販賣したる物品に付、第二種の物品の製造者は每月其の製造場より移出したる物品に付其の課稅標準額を翌月十日迄に屆出で其の月末日迄に稅金を納付すべきこと

（二）關東州外より輸入する第一種又は第二種の物品にして引取人より稅金を徵收するものに付ては當該物品を保稅地域又は郵便局より引取らんとするとき其の課稅標準額を屆出で稅金を納付すべきこと

十二 左に揭ぐる第一種及第二種の物品に付ては物品特別稅を免除すること

（一）關東州外に輸出するもの

（二）第一種又は第二種の物品製造用に供するもの

（三）學術研究用に供するもの

（四）醫療用に供するもの

（五）機械用又は工業用に供するもの

（六）敎育用に供するもの但し中等學校又は小學校に於て使用する寫眞機、映寫機、寫眞用フイルム、ピアノ及オルガン限る

十三 第一種の物品の小賣業を營まんとする者又は第二種の物品を製造せんとする者は販賣場又は製造場及販賣又は製造すべき物品を定め政府に申告するを要すること

十四 市、會其の他の公共團體は北支事件特別稅の附加稅を課することを得ざること

十五 本令施行前より引續き第一種の物品の小賣業を營む者又は第二種の物品を製造する者本令施行後一月內に其の旨を申告するときは本令施行の日に於て本令に依り申告したる者と看做すこと

商況欄（八月二十六日）後場

株式相場

●大連株式

銘柄	寄
五品	一五、〇〇
豆新	—
東新	一三三、五〇
滿鐵	五三、七〇
同新	四一、九〇
日產	六五、九〇
鐘新	[illegible]

●奉天株式

銘柄	寄
滿取	一〇、九〇
東新	[illegible]
日新	[illegible]
鐘品	[illegible]
五鐵	[illegible]
豆新	[illegible]
滿甲	[illegible]
同毛	[illegible]
電魯	[illegible]
滿	[illegible]
日	[illegible]

手形交換高（廿六日）

四五八枚 九六六、[illegible]

鮮魚小賣相場（八月廿六日）

品名	最高	最低
活鯛	[illegible]	[illegible]
氷鯛	[illegible]	[illegible]
中鯛	[illegible]	[illegible]
コロ鯛	[illegible]	[illegible]
チヌ鯛	[illegible]	[illegible]
連子鯛	[illegible]	[illegible]
イセエビ	[illegible]	[illegible]
車エビ	[illegible]	[illegible]
白サエビ	[illegible]	[illegible]
小エビ	[illegible]	[illegible]
小アジ	[illegible]	[illegible]
中アジ	[illegible]	[illegible]
ブリ	[illegible]	[illegible]
ヤズ	[illegible]	[illegible]
ヒラナ	[illegible]	[illegible]
マワラ	[illegible]	[illegible]
サスキ	[illegible]	[illegible]
マスベ	[illegible]	[illegible]
スズキ	[illegible]	[illegible]
アナゴ	[illegible]	[illegible]
サムツ	[illegible]	[illegible]
赤ザミ	[illegible]	[illegible]
ギコウ	[illegible]	[illegible]
アベル	[illegible]	[illegible]
メブラ	[illegible]	[illegible]
アブラメ	[illegible]	[illegible]
ボラ	[illegible]	[illegible]
タラコ	[illegible]	[illegible]
ヒラメ	[illegible]	[illegible]
カレイ	[illegible]	[illegible]
小シイラ	[illegible]	[illegible]
グチ	[illegible]	[illegible]
ト市	[illegible]	[illegible]
イワシ	[illegible]	[illegible]
ハゲ	[illegible]	[illegible]
ボーボー	[illegible]	[illegible]
メナガシラ	[illegible]	[illegible]
コノシロ	[illegible]	[illegible]
コチ	[illegible]	[illegible]
通長	[illegible]	[illegible]
オコゼ	[illegible]	[illegible]
シイラ	[illegible]	[illegible]
サンマ	[illegible]	[illegible]
太刀魚	[illegible]	[illegible]
キス	[illegible]	[illegible]
サヨリ	[illegible]	[illegible]
アナモ	[illegible]	[illegible]
ヘカ	[illegible]	[illegible]
フイ	[illegible]	[illegible]
赤エイ	[illegible]	[illegible]
アユ	[illegible]	[illegible]
白魚	[illegible]	[illegible]
ウナギ	[illegible]	[illegible]
ドジョウ	[illegible]	[illegible]
アワビ	[illegible]	[illegible]
貝柱	[illegible]	[illegible]
貝立貝身	[illegible]	[illegible]
赤貝	[illegible]	[illegible]
蛤	[illegible]	[illegible]
ハマグリ	[illegible]	[illegible]
カサ	[illegible]	[illegible]
鹽サバ	[illegible]	[illegible]
オアジ	[illegible]	[illegible]
鯖（切り身）	[illegible]	[illegible]
鰯	[illegible]	[illegible]
ヒラス	[illegible]	[illegible]
マワス	[illegible]	[illegible]
サスラ	[illegible]	[illegible]
スキ	[illegible]	[illegible]
ニベ	[illegible]	[illegible]
ヒラメ	[illegible]	[illegible]
水カ	[illegible]	[illegible]
フカ	[illegible]	[illegible]
赤エイ	[illegible]	[illegible]

農事合作社に關する當業者の要望內容
當局の再檢討へ十七條を具陳

農事合作社に關する全滿糧棧公會、特產組合その他各地商工會議所商務會の要望は旣報の如く日滿實業協會支部において取纏め廿三日石崎、尾藤兩理事が產業部、經濟部、特產中央會その他各關係筋を歷訪、右要望書を提出して當局の再檢討を請願したが、要望書の內容は次の如し

一、施行延期乃至緩漫漸進主義を希望す
「理由」急激なる變革は農民糧棧業者双方とも不便不利、從つて犧牲者を多數出すに至るべく個人經濟國家經濟に惡影響をおよぼす虞れあり

二、糧棧業者に對し他に維持便法および救濟策を希望す
「理由」合作社設立の曉は糧棧業者に對し維持對策を講ぜざるにおいては多數從業員の失業者を出し、延いて國家社會に惡影響をおよぼすべし、又一視同仁の建國精神よりみても農民に厚く商民に薄きは遺憾なり

三、特別要望なし
「理由」僻遠の地にて農產物市場無きと合作社の事業不明等のために要望なし

四、合作社の取扱品目は新規生產品即ち棉花、燕麥、ルーサン、ケナフ等に限定されんことを希望す
「理由」大豆、高粱、小麥等はその產額甚大にして且つ相場の動向が常に世界的なる關係上これを合作社において取扱ふは種々の困難と非常なる危險を伴ふが故なり

五、交易市場における買方はその土地の糧棧、特產商および代理店に限定されんことを希望す
「理由」地方當業者の立場を尊重擁護せられたし

六、取引機關充實せる地域においては急激なる實施を避けられたし
「理由」急激なる變革の各方面におよぼす影響を慮る

七、合作社は農產品の增產、改良、指導、農器具改良、規格統一等生產方面の事業に限り販賣購買の事業は從來の機關を利用せられんことを希望す
「理由」從來の取引機關を尊重し糧棧特產商及び一般商人に對して生業の途を與へもつて市面の動搖、失業者の發生を防止したし

八、糧棧公會を政府の手にて改良監督し合作社に代らしめよ
「理由」取引制度の急變革をば農商共に悅ばず、殊に糧棧の營業を生かすために又從業員の失業を防ぐために右方法を採用され改革すべきは改革し協力して目的達成に竭したし

九、糧棧從業者を合作社に收容すべし
「理由」合作社設立の曉において失業救濟のために特產に經驗もあり交易にも精通せる糧棧從業員を合作社に收容して使用すべし

十、合作社の設立により糧棧との間に起るべき摩擦を防ぐために充分考慮の上善處せられたし
「理由」圓滑なる運用、圓滑なる取引を希望す

十一、糧棧及び關係業者の現存資本と從業員とを救濟すべく、合作社と聯合して地方農業銀行を設立し金融倉庫を經營し資本と從業員とを包容すべし
「理由」糧棧業者その他關係業者を救濟するとゝもに政府の方針にも抵觸せざるべし

十二、合作社設立に當りては交易市場經營を糧業公會ならびに各地商會に委任し農民と商人との取引を自由ならしむべし
「理由」糧棧業者を救濟するとゝもに合作社と協力して事業の遂行をなすを得べし

十三、格付檢查の嚴重勵行を期し滿鐵混保檢查との一元化を計られたし
「理由」取引の圓滑を期するためなり

十四、交易市場の設置については從來の集散事情を考慮し一般農民をして不便なからしむるやうせられたし

十五、現在糧棧特產商を利用して政府監督の下に合作社と改め、半官半民の收糧機關を經營すべし

十六、合作社の消費組合經營に反對す
「理由」地方の一般商工業者は農民を唯一の買客とする故消費組合又は購買組合の改立に依り是等商工業者の受くる打擊は甚大なるものあるべく延いて地方金融經濟の萎微沈滯を招來すべし

十七、合作社は現物市場を設けて農民と糧棧および特產商との取引を直接自由ならしむべし
「理由」取引の迅速圓滑且つ經費の節約をなし得べし

而してこれ等の要望事項に關する當局の意向は大略次の如きものである

要望に對する當局の見解

（一）の施行延期乃至緩漫漸進主義の希望については旣に當局より機會ある每に說明ありたる如く、合作社運動の國策的使命ならびに性質よりして可及的速かに實行に移すを可とするものであつて、從つて施行延期は今更不可能な問題で、たゞ現存機構との調整に對しては漸進主義により極力要望に副ふ（二）及び（九）の糧棧業者に對する維持便法及び救濟策については獨立の糧棧業を廢業して合作社に合流せんとするものは合作社の使用人としてこれを吸收し又倉庫が不用になればこれを買取ることにして、その將來には考慮を拂ひ對策としては糧棧その他農民に依歸する商工業者は合作社に包容せしめる方針である、なほ具體的救濟策は未だ成案はないが、將來中小商工業の必然的組織化の曉においては合作社はこの組織化さるべき商工業と一致協力して進むべき用意を有してをりこの點都市中小商工業者は合作社の脅威を考へる前に大資本の驅迫に對して反省し合作社運動の眞精神を理解すべきである

（四）の合作社取扱品目の新規生產品限定希望については原則としては主要農產物ならびに增產計畫による新規產物より始め逐次全體に及ぼす方針に變りないが地方事情により一律には行かないから特にその地方に必要なものは取扱ふことにし漸進的に進む方針である

（五）の交易市場買方限定希望については一應地方當業者の立場を尊重するも從來通り機會均等主義に則り廣く市場を一般に公開することは必要且つ當然のことで、それによつて地方業者が致命的打擊を受けるものとは考へられない

（七）の合作社は生產方面の事業に限り、販賣購買事業は商人に委ね、統制圈外に置けとの希望についてはこれは日本の農業政策が生產獎勵に偏し過ぎた憾みを現に殘してゐる經驗に鑑み增產獎勵の一面において販賣を統制し且つ農民の福祉のため一部購買事業を行ふことは政府の確定した大方針である

（八）及び（十二）の糧棧公會による合作社代替及び交易市場の公會委任の希望については合作社事業が單に農民に對する金融或は買取販賣等のみを經營するものなら兎に角その他檢查、市場經營及び販賣、購買、加工事業等を行ふべき性質である以上は民間機關をもつては到底なし得るものではなく、必然的に國策遂行機關としての國家的機關を必要とするものである

（十二）の地方農銀設立の希望についてはこれは業者自體の金融問題としての見地より考慮さるべき性質のもので、かゝる組織における農銀金融倉庫事業經營は合作社事業を否定するものであり、現在資本の救濟對策としては他の商業金融機關に求むべきである

（十二）の格付檢查の滿鐵混保檢查との一元化希望については將來取引の圓滑をはかるため檢查事業の充實整備に隨ひ原則として合作社の生產檢查及び混保輸出檢查との一元化をはかる

（十四）の交易市場設置に關する希望については極力從來の集散事情を考慮し必要に應じ增設する

（十六）の合作社の消費組合經營反對については合作社の加工乃至製造工業は農民の凡有る必需品を製造するものでなく、消費の一部分を自給自足するやうに導き、もつて農民の消費する凡有る日用品が合理的な値段で商工業者より配給されることを旨とするから消費組合又は購買組合の設立によりこれ等商工業者との摩擦は萬々起らないものと考へる、中小商工業者は今後寧ろ自發的に無統制の業者を組織化して商工業組合を組織化すべきであつて、合作社の設立を見て、直ちに商工業の發展に障害ありとなすは短見といふべく、合作社成立の根本精神に對して徹底的理解を望むはこれがためである

「軟式庭球」講座 7
前衛の心得

滿洲興業銀行　中川數馬

ゲームの勝敗は大半前衛の上手下手によると云はれる位前衛は重要なる地位を占めてをります、夫れ丈に又技術の練磨に付てはそれ相當の苦心、研究が伴つて參ります

初めてラケットを握られる人の多くは後衛を希望する樣ですが之はなぜかと申しますと後衛の方が球を打つ機會が多くサーブ側にでもなると前衛は一ツも打たずに負けて仕舞ふと云ふ具合で球拾ひばかりをやつて面白味がない爲に自然前衛より後衛を望む傾向となりますが前衛として少しく技術が上達すれば反つて後衛の分迄も中途で止め後衛が球拾ひをやる間は凉しい顏をしてゐると云ふ風になり後衛より前衛の方が妙味が多くなつて來ます、そればかりでなくネットプレーに至つては又後衛の得點に比しはるかに氣持の良いものです

扨これから前衛をはじめる方に是非共心得て戴き度い點を擧げて見ますと

第一、前衛は勝敗の鍵を握つてゐること
一般に後衛の打合は前衛を避けて打たれて居りますから自滅しない限りは何時迄も繼續するものと見られます唯對手方より持つて來る球を待つて居ては味方の後衛が疲れるばかりでなく敵の前衛に乘ぜられて結局味方の敗滅となります、後衛としての得點は極小範圍に限られてゐます、やはり前衛の活躍如何が直接勝敗に影響することを忘れてはなりません

第二、鬪爭心に旺盛なること
前衛は丁度驅逐艦に相當すべきで對手の攻擊を防禦してばかり居ては所期の目的を達することが出來ません總て積極的に敵を威壓牽制し其の虛に乘じて着々得點して行かねばなりません一から十迄對手の球をとることは至難ですが此の位の氣概があつて欲しいものです

第三、決斷力を養ふこと
前述の如く勝敗を速かに決せんとするには決斷力が必要です最近は一帶にボールにスピードが加つて來ましたので昔の樣にボールを追ひかけて打込むと云つたものが出來なくなりました、出るなら出る守るなら守ると云つたはつきりした點がないと何時も中ぶらりんで腰が座らずこれが後衛にも反影して結局自滅となりませう

第四、動作の敏捷なること
如何なる運動に於ても動作の敏活なることは必要ですが前衛は對手との距離が非常に接近してゐる關係上余裕がないばかりか防禦は勿論更に進んでは攻擊もせねばならぬ立場にあり殊に其の必要を痛感させられます

以上は前衛として常に心得て置かねばならぬ事柄ですが、これに伴つて又種々にプレーを研究せねばなりません頭の働きと技術の熟達と相俟つて始めて完全なるプレヤーと云へませう

以下ネットプレー、モーションの圖り方練習方法に付て過去十數年の實地經驗を基礎として初心者の參考として聊か所見を述べ併せて軟式庭球界の益々發達を祈つて止みません

……ネットプレーに就て……

普通ネットプレーと云ひますのは所謂スマッシング、ボレー、ストップ等の總稱であつて前衛の上手、下手は大部分此のプレーの巧拙に依つて定まるものです、簡單に之等の各プレーに亘つて說明し氣付の點を擧げて見ますと

（イ）スマッシング

大體ロビング（高く揚げたボール）を打込む動作であつて前衛には是非共必要なプレーです

ロビングは普通對手方が前衛を避けて後方に向つて送られる球ですが、初心者の多くはこれを後衛のものとして全然關與しない人が居られますが陣形を崩さない程度の後退は是非共必要です一度此の種の球を打込まれると對手の後衛はロビングに對する自信を失ひ前衛を避けんが爲めにアウトすることが比較的多いものです

スマッシングは手先で打たずに上半身共に打込みます手先で打込まれた球はスピードがない爲すぐに拾はれて余程の急所でないと得點出來ません足の開き具合は橫に開かず前後に開き身體を斜にして打込みますこの場合腰に力が入りませんと足がぐら〳〵して結局手先で打つ事となり球に威力がありませんから練習の時に充分氣を付けることです次にスマッシュせんとする時には直ちに適當な位置に就きボールの落ちて來るのを待つ位にしたいものです尤もロビングの種類により多少副はない點もありませうが此の位の餘裕を持つ樣練習の折に心掛ける可きです位置を定めることは仲々むづかしいことですが練習を積めば自然と分る樣になります

打込場所は大體對手の陣形により夫々對手の隙に打込むのが理想的ですが位置によつては打込憎い場合がありますこんな時無理をして迄打込むのは考へ物ですそれよりスピードのある球を最も打込やすい場所に入れる方が結果より見て良い場合が多いと思はれます此の場合はなるべくラインの距離の長い處を選ぶ方が安全でせう

（ロ）ボーレー

ロビングでないボール即ち前衛の位置にて充分採れる高さのボールを打つことを稱して居りますがこれには種々の方法がありますがどんな球には如何なる打方が良いかと申しますと

（１）打込む場合
對手方の球がゆるい時に起すモーションで此の場合はなるべく力を入れて打込むことです

（２）ラケットにて合せる場合
對手方の球が相當スピードある場合打込にはどうしても遲れ勝ちとなりますからこの場合はラケットに當てて返へすことです

（３）ストップの場合
對手方の球が遲い速いに不拘敵の陣容を見てネット前に落すこと

等であつて最近のテニスは比較的ロビング戰よりもスピードの打合が多いので自然ボーレーの練習か必要となつて參りました、スマッシングよりボーレーの上手下手がゲームに影響する所が多くはなからうかと思はれます（寫眞は中川數馬氏）

綿々として盡きぬ　武人藤井少將の逸話
日滿人齊しくその戰死を悼む

〇〇において名譽の戰死を遂げた〇〇部隊長藤井少將は昭和七年靖安軍（當時靖安遊擊隊と稱す）が創設さるゝと同時に同軍の司令官に任命され國內治安の確保に獻身的努力を續けその第一線出動回數は實に三百數十回に及んでゐる靖安軍が今や國軍の華として日本軍に劣らぬ輝かしい名聲をあげるに至つたのは實に同少將の努力に負ふところ大で同少將は司令官に任命されるや女子供が居たんでは思ふ存分働けないといつて間もなく夫人及び令息、令孃を故鄕若松市に歸へし、爾來數年間不自由なやもめ暮しを續け、獻身滿洲國軍の育成にその全生命を打込んだ武人である

又同少將は鬼をもひしぐ勇猛果敢な半面部下をわが子の如く愛する溫情將軍として知られ除隊兵や部下の父兄など訪れると早速御馳走をしたり、市內見物などもさせて何くれとなく面倒を見てやるといふやさしい半面をもつた人で、今次の出動に際しては大笑一番「大いにやつてくるよ」と豪快な笑ひを殘して奉天を後に勇躍〇〇に向つたのであるが、同少將戰死の報一度傳はるや同少將となじみ深き在奉人を始め同少將の德を慕ふ各地の滿人はいづれもその壯烈な戰死を深く惜んでゐる

前任者和田氏談

〇〇において壯烈な戰死をとげた靖安軍司令藤井重郎少將の前任者たる現協和會中央本部監察部長和田勁氏訪へば、氏はこの典型的武人の戰死をいたみつゝ次の如く語つた

藤井閣下は僕と同じ會津の出身で僕にとつては師とも兄とも賴む先輩であつた、閣下は現職に就かれる前初代の大同學院學監であつたが、有名な日蓮主義者であると共に稀にみる人格者であり學生の閣下を敬慕することこの親を慕ふにも似てゐたこの戰死の報を聞き現に滿洲國中堅官吏として働いてゐる卒業生達の落膽もさぞめし大きいことであらう、僕が靖安軍を辭した後閣下が後任に任命され、僕はよき後任者を得て國軍の發展のため秘かに喜んだものである

果せるかな靖安軍は國軍の中堅として威武を中外に輝かしたが、同軍今日あるは實に閣下の不斷の努力と人格のしからしむるものといつてもはゞからない、私生活に於ける閣下は司令就任以來ずつと獨身生活を續けられ、最近は好きな酒も煙草も血壓が高いといつて排され、また女は決して身邊に寄つけない主義であつたしかし一面部下を愛すること我が子の如くで俸給をさいては貧しい部下の家庭に惠み、或は苦學生に補助などして獨り樂しんで居られたものである、非常時に際し閣下のやうな偉材を失つたことは獨り滿洲國軍のみでなく日滿兩國の一大損失であるが、閣下が武人としての最後を飾られたことはせめてもの慰めである、僕は早速承德に赴き悲しき凱旋をする閣下の靈に敬意を表しようと思つてゐる

堀內弘報處長談

前奉天第一軍管區司令部參謀長現國務院弘報處長堀內一雄氏は藤井少將戰死の悲報に接し、その人となりにつき次の如く語つた

藤井閣下は前關東軍參謀長板垣中將と同期生で、仙台の幼年學校時代より學內の大陸會に入會し、その頃より熱心な滿蒙問題の研究者であつた、私は奉天在任中親しく交りその人となりを敬慕してゐた者であるが、閣下は日蓮主義の權威者であるだけにその信念と信仰とは常に隊內に反映しこのことは數次にわたる東邊道、東寧附近熱河その他の討伐における同軍の殊勳となつて顯はれてゐたが、建設途上の國軍として閣下を失つたことは惜しんでも餘りある次第である

讀者の領分
投稿歡迎　中傷不可

放送局の醜態
激怒生

二十四日の新京リーグ野球戰の滿洲國對新京クラブの野球放送中に朝鮮語の放送を何にを思つてか、突然豫告なしに放送し、零對零から正に滿洲國のチャンスといふ時にブッツリ切つて、譯のわからぬ鮮語を十分近くも出して折角の野球を合なしにしてしまつた

何んの理由で鮮語を放送するや？、今度丈け出したのか、その根據と理由をハッキリして頂きたい。先日は臨時ニュースとして價値なきものをニュース〳〵と稱して放送し、聽取者を一度は熱しせしめその後ブッツリニュースらしいものを出さず、完全に人々を馬鹿に慌てせしめ天下の公器と稱するラヂオの用ひ方を堂々とこの欄で公表しておきながら勝手に聽取者を愚弄するといふことは放送局の無定見無統制の極と云ひたいのである。鮮語の內容は不明であるが日本人と鮮人の人口から見ても營利會社である放送局は今少し頭を働かしては如何でせうか？、やつと滿語の放送が別々になつて安心して、これで內地の放送と同樣だと思つてゐたのに、これで又昔同樣なゴチャ〳〵放送に歸へるのではないかと心配する。反省する必要があるですね。昨今のラヂオはニュース第一それに次いでスポーツです。

恐らく朝鮮の人には新京の放送を聞くのでなく母國京城の放送が聞きたいのでせうしそれが一番いゝのではないか。そんなことを聞いたことがある。五分か十分の鮮語の放送に月一圓も拂ふ人はチョット新京には居ないのではないでせうか。こんなこんなことが判らぬのかなあ。終りにニュースの再放送は我々の樣に不定期に移動する人間には有難い。次に新京から土地の演藝が非常に少なくなつたのは淋しい氣がするが、さう思ひませんか。毎日毎夜雨ばかり降る此頃ラヂオが唯一の樂しみだ。この意味で放送局の人々に感謝するが、今日の樣な失敗はやらぬ樣に願ひます。聽取者の大多數がニュースとスポーツを愛する現代人、即ちスリルを喜ぶ我々の氣持ちを今の時局とハッキリ結びつけて、力強い放送をするのが滿洲に存在する放送の重大なる使命といふか責任であるといふか、それ位の覺悟と決心と自信があつてほしいものだ。猛省を促す

恤兵献金
關東軍扱ひ

△五十三圓八十錢｜日本商工會議所職員一同△百二十圓一同州錢｜東亞自動車商會社員一同△五百圓｜哈爾濱渡邊源吉△千圓｜哈爾濱猶太宗教公會△八圓｜同匿名△五十圓｜不動信託會社々員一同△五圓｜哈爾濱料亭三笠△四十三圓五十錢｜鴻業公司社員一同△百四十二圓四十錢｜東拓哈爾濱支店員一同△百六十九圓六十九錢｜在哈帝國總領事館署員一同△十圓｜三信號馬場祐作△百三十圓｜成發號店員一同△百十七圓三十錢｜日本赤十字社哈爾濱病院職員一同△五十圓｜モダン理髪館店員一同△千五百七十七圓六十三錢｜同藤林業公司日滿露從業員一同△二十圓｜日滿洋行店員一同近△二百圓｜哈爾濱光武時晴△百圓｜光武商店々員一同△千五十圓七十五錢｜國際運輸株式會社支店員一同△十圓｜哈爾濱八幡タマ△十圓｜同太田シモ△十圓｜同宮脇政榮△十圓｜同福原コシズ△十圓｜甲能モト△十圓｜同吉原ダカ△十圓｜同中村アサ△十圓｜同井河壽雄△十圓｜同保野泰三郎△十圓｜同木村甚吾△二圓五十錢｜同松村テフ△二圓五十錢｜同館イカ△二圓五十錢｜同原田シゲ△二圓五十錢｜同猪飼ナツ△三圓｜同藤澤ハナ△一圓｜同スズ子△一圓｜サダ子△三圓｜同深草內松子同雪枝△三圓｜同外一名△二圓松キヨ△三圓｜瀨川ハル△平圓｜小川トシ△三圓｜小野久子△五圓｜角田韓治郎△四圓｜桑名武男△三圓｜鹽山宗一△三圓｜堀田健三△二圓｜出島定夫△十一圓四十三錢｜滿洲電々綜化電話局員一同△五圓｜同阿城局員一同△四百二圓八錢｜滿洲電々在吃日滿露社員一同△三十圓｜同勃利電報電話局々員一同△四十圓｜刀藍堂△一圓｜中學行△卅五圓廿九錢｜大北新報社員一同△二圓｜盛京時報社員△百圓｜大同報北滿總辨事處△一八十四圓八十一錢｜呼蘭縣公署一同△十六圓十二錢｜地方區法院△一同△十二圓｜同地監獄署一同△十五圓｜同稅捐同一同△五百四十圓｜同中央銀行一同△四圓｜金融合作社職員一同△六圓四十錢｜電報局職員一同△一圓｜郵政局職員一同△二圓｜救濟院職員一同△八圓｜農會職員一同△一同△五圓｜同善社職員一同△四十九圓四十錢｜哈爾濱商會職員及各號一同△五十圓六十錢｜同、城區保公署及各紳民一同△二百五十五圓｜民衆會鄉五一保公署及縣民衆一同△百四圓｜同、協和會職員及會員一同△五圓｜民立義倉職員一同△三十三圓｜塾士聯合會職員會員一同△二十四圓五十錢｜伊斯蘭協會職員會員一同△六圓｜協和會員一同△三圓

△五十錢｜私立學校教職員一同△五十圓｜北滿驛士俱樂部會員一同△十圓｜哈爾濱矢島正△二百圓｜同須藤商店主外店員一同△五圓｜匿名△五百圓｜同、岩間商會、二十七圓七十錢｜同大連火災出張所社員一同△五十圓｜同、早坂不二雄△十圓｜同、喜多榮太郎△五圓｜廣永三郎△六十五圓｜三泰棧店員一同△百圓｜同小倉洋行△十圓｜同新井松藏△百圓｜同久保田俵治△千十圓｜哈爾濱日本居留民會長牛木寛三郎△三圓｜桃山小學校五年生柴田哲也、澁谷宏夫△五十圓｜哈爾濱正金銀行山下房次△七圓｜桃山小學校一年生軍司掛省三△百圓｜南海洋行谷口益太郎△二十圓｜同店員一同△五十圓｜有道公司哈爾濱出張所一同△百圓｜哈爾濱浪花酢主人△五十七圓五十錢｜同從業員一同△百五十圓北滿鐵路整理事務所日滿露人所員一同△二十三圓八十錢哈爾濱鐵路局會計科營財股一同△十圓｜同明治生命親和會△同野口秀德△五圓｜同野口ミサホ△十圓｜同日本共立齒科醫院△八十九圓｜哈爾濱日日新聞社日本人社員一同△十八圓八十錢｜同滿人社員一同△百圓｜哈爾濱聯合婦人會△二圓三十五錢｜桃山小學校西園久利△五圓｜哈爾濱石井公平△五圓｜桃山小學校石井啓喜外一名△五十圓｜哈爾濱藥舖旭昇波△三圓六十五錢｜桃山小學校小泉雄一郎△二圓四十錢｜同山本司郎外一名△九圓二十六錢｜哈爾濱日本中學校第一校園有志△百圓｜哈爾濱共益公司△二十五圓｜哈爾濱淺川善吾△百圓｜哈爾濱フロリダダンスホール△三十五圓｜哈爾濱北滿經濟調查所員一同△三十圓｜ジャパン・ツーリスト・ビューロー哈爾濱案內所職員一同△三十圓｜有賀病院職員其他一同△百圓｜和信洋行下河邊タキ子△三十二圓七十五錢｜國立農事試驗場職員一同△二十圓｜哈爾濱和田巖△二圓｜哈爾濱和田夫人△十圓｜哈爾濱市公署都市建設局水道科職員一同△二十圓｜哈爾濱鐵道工場會計課野球部一同△二圓｜花園校六年生荒巻レイ子△十圓｜同荒巻房江△十六圓｜哈鐵營業所第五分段從業員一同△五十一圓六十五錢｜協和會電業分會有志△十圓｜立川正國△十圓｜引頭末治△五圓｜足立一郎△廿一圓｜國婦會一面街入區第六分會△十圓｜白川チヨ子△百二圓六十錢｜名古屋ホテル一同△四十四圓五十錢｜哈爾濱ロータリー協會△二百圓｜北滿製糖會社一同△十二圓｜匿名△百圓｜料亭はづみ△十二圓｜同從業員一同△五千十七錢｜下里和子、同昇△千五十｜哈爾濱交易所員一同△二百四十錢｜同所員一同△百圓｜カフェー飲食店組合△二百圓｜滿洲土建組合支部△百圓｜土建組合△百圓｜カフェー松月△十圓｜同從業員一同△十圓｜太田和夫△廿圓｜尾崎重三郎△三百圓｜中央銀行哈爾濱分行道外支行日滿人行員一同△六二十圓｜哈爾濱軍需ヨシ子△百廿五圓七十九錢｜同鐵路局並鐵路學院△一圓廿錢｜同普通學校六年生金奉一△二圓卅錢｜高等女學校四年生金子トヨ子△廿三圓｜滿洲國通信社哈爾濱支社員一同△二圓卅四錢｜桃山小學校三年生尾形レイ子△五百圓｜哈爾濱特產物商同業組合△廿圓｜同梁子賢△十圓｜同梁徐、淑琴△百二圓｜同陸商會店員一同△四十二圓六十八錢｜陸商會主人△二圓｜花園小學校匿名△卅圓｜哈爾濱江草光太郎△廿五圓｜江草工務所員一同△二十圓六錢｜中野隆範、同ケイ子△十百圓｜同山口嘉太郎△卅圓｜同野球俱樂部選手一同△千圓｜哈爾濱石炭商組合一同△十五圓｜□店員一同△十六圓｜同竹內商會々員一同△百廿一圓｜同驛從業員一同△三千六十三圓五十錢｜哈爾濱料理屋置屋營業主並從業員一同△四圓九十九錢｜同宮原大丈夫、小倉道子△同敦子△百圓｜怡屋洋行小川シゲ子タカラーノファノフ△二十圓｜哈爾濱東儀七

ラフと明るさ！
色彩もダンゼン澁い好み

本秋の流行を截る　セーター【1】

△▲…三年後のオリンピックはとみに運動熱を煽りその服裝に對しても在來に見る輸入品模倣或はその本質を疑はれるやうなもの等は完全に姿をかくし凡てその持つ獨自のフォームを活かし男性的な粗野味を加へて明朗な新感覺を誇るノヴァブレイド（近代格子調）を基調に颯爽とデビューせしめて玆に再檢討された良品が多い。

△▲……女ものセーターは依然ネオ・ブリリアント・ハーモニー（新光華調）が凡ての基流となつて居り、概ねセーターとスカートの持つ夫々の個性を活かし之を旨くマッチさせたテーラード好みを高尚なアンサンブルとして取扱はれ色彩も澁い好みを部分的に用ひられた明るいカラーによつて全體の持つ感覺を派手なものに仕上げ、手工藝的なテクニックが强調されて來ました。

生地は矢張りラシャ加工に依る强縮のもの即ち特有の地風に主力がをかれ一面ラフな高原的手編風のものが新しいものとして進出して居ります。

△▲……また男女物共に純毛を生地とし伸縮性に富み鮮明な色彩とほぐれない點を誇るミラチ品が相當流行を見てきました。主色としてヴァイオレット、ワインレッド、サンキスト等が數へられてゐます。値段は男女物共五六圓から十五六圓程度です。（カット平本洋行新着荷）

赤ちゃんの手當
乳兒の育て方…
産婆　山口孝子　(三)

便秘

赤ちゃんの便秘はいろ〳〵の場合起りますが、お乳の不適當な結果が多いのです。お乳の分量が少ない場合、或は多すぎる場合、水分の足りない場合、人工榮養ではうすめ方が薄すぎる場合、濃すぎる場合等に起ります。又母親が便秘してゐる時に起すものであります。

マルツ汁エキスを番茶に混ぜて與へることもよいのですが、手軽には水飴茶匙一杯を茶のみ茶碗一杯程にうすめ、お乳の間に一日二回位與へて下さい。それでもきゝめのないときは少し濃い目にして與へて見るとよいのです。生後三ケ月位の赤ちゃんでしたら林檎を四分一位果汁としてうすめないで與へて見ることもよいと思ひます。四分の一できゝめのないときは更にも一度四分の一與へて見て下さい。お湯に入れて溫つたところで輕くお腹をさすつてやることもよいと思ひます。

浣腸はくせになりますからなるべく他の方法に依て便通を促す樣にしなければなりませんが止むを得ない場合は浣腸をします。（二日便通のないときは排便させてやらなければなりません）浣腸の仕方はグリセリンをぬるま湯で三倍にうすめ（グリセリン一水二）一番小さい十瓦の浣腸器に一つ致します。浣腸器に液を入れましたら中の空氣をすつかり出し浣腸器の先にグリセリンをつけてなめらかにして肛門にさし込み液を入れ終りましたら暫く脱脂綿で肛門をおさへ藥のきくのを待つてから排便させます。

下痢

母乳を與へてゐても時に赤ちゃんが下痢することがあります。お乳を與へる間隔を延し又授乳時間を少し短くして見ることが必要です。人工榮養の場合は糖分を少しひかへなくてはなりません。いろいろ注意して尚下痢する場合は醫師の診察を受けることが必要であります。

吐乳

赤ちゃんはよくお乳を吐くものですが之は溢乳と云つて飲み過ぎた分量を吐く場合が多いのです。然し飲み過ぎなくとも動かしたりしたために吐くことはあります。乳を吐いても苦痛の表情もなく、外觀健康で體重も增加して行けば別に心配は要りません。授乳の間隔を少し延すとよろしいのです。但し頻繁にお乳を吐く樣な場合は早速醫師の診察を受けることが必要であります。

それから母乳の時もさうですが人工榮養の場合は殊に乳と一緒に空氣を飲み込むことがあります。授乳後暫くして赤ちゃんを垂直に、つまり母の肩のところへ頭が來る樣に抱き上げて背中をかるくたゝいて胃の中の空氣を出す樣にして下さい。胃の中に空氣が入つたまゝにして置くと空氣と一緒に飲だお乳を吐くことがあります。よく乳を吐く赤ちゃんには試みて下さい。

あせも

あせもは殊に太つた赤ちゃんに出來易いものです。顎、腋の下、股、背中等に多く出來ます。赤ちゃんをなるべく薄着とし襟元のゆるやかな、袖口をくゝらない着物をきせ風通しのよいところに寢かす樣に注意します。

汗を出しましたらよく拭いてやり、肌を乾燥させておく樣にシッカロール、亜鉛華澱粉等を撒布して置きます。あせもが出來ましたら脱脂綿を硼酸水又は重曹水に濕してかるく叩きその上を乾いたガーゼでおさへて水分をとりシッカロールを打つて置きます。

臀部のたゞれ

生れて間もない赤ちゃんは便通の回數が多い爲めに時に臀部のたゞれることがあります。なるべく軟いおむつを當てる樣にし、濡れたおむつを當てゝ置かない樣に氣をつけます。便を拭きとつた後は脱脂綿を溫湯でぬらしてきれいに拭きシッカロールをふつて置きます。赤くなりましたら亜鉛華オレーブ油を一日二三回塗布しその上にシッカロールを撒布して置きます。

泣く度にお乳を與へたりしますと、便通が多くなりますから、お乳は時間をきめてやりお乳の多い方は飲ませ過ぎない樣に注意しなければなりません。便通の回數が少なくなりますと臀部のたゞれは直ぐに治るものです。又おむつはいつも清潔にし、石鹸をよくすゝぎ落すことが必要であります。

鵞口瘡

鵞口瘡は病菌の爲めに起る口中の病氣です。衞生、殊にお乳を飲ませる際乳頭の清潔に注意しなければなりません。白くなりましたら硼酸水又は重曹水を脱脂綿につけて指に卷き、一日數回かるく拭いてやります。素人療法としては、ヘブ茶を濃く煎じてその水を脱脂綿につけて度々そつと拭いてやるとよいと云ひます。拭いてもなほ白いものがたくさんつく樣な場合は醫師の診察を受けなければなりません。

夜泣き

夜泣きの癖は困るものです。それを防ぐには、授乳の時間を規則的にすることが最も必要であります。授乳の時間が規則的ですと睡眠時間も隨つて規則的となります。又抱き癖をつけない樣にすることも大切です。もし夜泣きの癖がつきましたら、お湯に入れるのをおそくして入浴後暫くしてお乳を飲ませて床に入れます。するとお湯に入つて氣持のよくなつてゐるところへお乳でお腹が滿ちますので自然よく眠るものです。それでも尚目覺めましたら、薄い番茶にお砂糖を加へたものを與へます。

又母親の抱き寢することは避けなければなりません。母親の體の動き等で赤ちゃんの安眠を妨げることがあります。

脱腸

脱腸は腹壁の筋肉の弱いところから腸が出るのであつて鼠蹊部又は臍に生じます。生來の局所の筋肉發育不全が原因で、赤ちゃんが泣きますと壓が加はりますので膨れて來ますが泣くことが原因ではありません。

よく便通のある樣注意しなるべく泣かせない樣に氣をつけます。脱腸を見出しましたらすぐ醫師の診察を受けなければなりません。氣をつけて手當をすれば大抵手術をしないで癒ります。暫く脱腸帶をする必要がありませうが、それは醫師の指圖によらなければなりません。

脱腸のある子供がもし嘔吐する樣な場合は病氣が非常に重い兆候ですから速に醫師の診察を受けなければなりません。

喇叭鼓隊に就て
滿鐵總裁室囑託　加藤哲之助氏談

新京日本少年團は同團後援會の絶大なる後援により過般少年喇叭鼓隊の編成を見去る廿日忠靈塔前に於て樂器の授受式を行つたが、近く滿鐵總裁室囑託加藤哲之助氏により練習を開始することゝなつた、少年喇叭鼓隊につき加藤氏は左の如く語つた

◇……近來我國には種々の合奏音樂が行はれて居ます、けれども多くは室内演奏用のものにて主として娯樂を目的とするものであり且つ修習困難なものであつて自己の業務に精勵する間寸暇を利用して心身を鍛錬し質實剛健なる國民たらんとする青少年の士氣を鼓舞するに好適なものが殆んどない今假りに勇壯活潑にして修習容易な軍隊用の喇叭を吹奏して此目的を達しやうとしても其音律はあまりに單純であつて現今の青少年の意氣にシックリ合はない憾があります、そこで此喇叭に考案の基礎を置き出來上つたのが喇叭鼓隊用の喇叭であります

◇……そしてこの鼓隊用の喇叭の形狀には大、中、小の三種の別あり其のうち小喇叭と中喇叭は各々第一、第二の二音部に分けて用ひられるのが普通で、合奏の場合には大喇叭と合して五音部の合奏即ち五重奏を成すのであります、是れに大太鼓と小太鼓とを加へて一隊の喇叭鼓隊を編成するのであります、そして編成には大、中、小の三種になつてをります、尚大、中の編成には一人の指揮者を要し行進演奏の場合長さ一メートル餘の指揮杖を用ひ其他の場合には通常の指揮棒を以て指揮するのであります、尚演奏曲目中には行進曲、意想曲、舞踏曲等色々ありますが一個の喇叭から出る五つの音以外は用ひないのであります、一般半音階の出る樂器の樣に何でも好みの曲を奏すると云ふ事は出來ません、鼓隊の特色は各喇叭手は單なる五つの音で出來た種々なる節を吹奏するだけですが、合奏すれば軍隊の喇叭の樣に單純なものに思はれず寧ろ軍樂隊を聽く樣に思はれます

◇……昭和二年戸山學校軍樂隊に依つて考案された當時は未だ微々たるものでありましたが、現今では全國的に隆盛を見るに至りました其れは云ふまでもなく現下の非常時局の要求に合致するものであると思ひます、音樂が其偉大な力を持つてゐる事は皆樣も既に御承知の事故申上げません

料理獻立
トマトと玉葱の甘酢漬

暑い夏にも又涼風の立ちそめた秋の夕にもあつさり漬けた新鮮なお野菜のお漬物は至つて喜ばれるものでございます　越瓜や胡瓜はどなた樣も遊ばしますが、又このやうなものも美味しうございますから申上げませう。

【材料】
トマト　半熟のもの十個
玉葱　大一個
上酢　三合
砂糖　大匙平に三杯
鹽　小匙一杯
丁字　十五、六個
肉桂の皮　小匙半杯

トマトは一分位の輪切玉葱も薄い輪切鹽をふつて一層づゝ漬けて一日おき別に甘酢を合せて漬けなほします。

果物の寒天寄せ

今は學校がお休みでお子樣方がお宅に居らつしやる時でございます。このやうなお料理は至つて簡單ですからお子樣方にもお拵らへになれますので樂しみにお手傳ひなさる方が多ございます。お子樣と一緒になつて拵らへてあげて下さいませ。

【材料】（八人前）
寒天　一本
りんご　一個
みかん　三個
バナナ　二本
砂糖　大匙山盛三杯
水　コーヒー茶碗三杯（約三合）

寒天砂糖を煮とかし、型へバナナの小口切、リンゴ、みかんの細切りを入れた上から流して冷まします。

マンガニシタ　丹下左膳

ダンナ、ノロスケガ、ヒキウケタカラ、一ジカン、五十センチメートルハ、ハシリマスヨ

ダンナ、四十マキル、ダシチヤ、ヤツクキハシンニナリマスヨ

けふの番組
（M・T・C・Y 新京放送局）廿七日（金曜日）

朝
六、二五ニュース（東京）
六、三〇ラヂオ體操・入港船のお知らせ（大連）
六、五〇初等滿洲語講座（大連）講師　秩父固太郎
七、一五朝の音樂（大連）
七、四五建國體操
八、〇〇氣象通報（大連）
九、〇五經濟市況（東京）
一〇、〇〇家庭講座（奉天）要領を得た家庭生活（下）

晝
一〇、二〇料理獻立（哈爾濱）黒川君枝
一〇、三〇家庭メモ
一〇、四〇經濟市況（大連・新京）
一一、三五經濟市況（大連）
一一、四〇經濟市況（東京）
一一、五九時報（東京）
〇、〇五[illegible]の演藝（レコード）
〇、三〇ニュース（東京・新京）
一、〇〇經濟市況（大連・新京）
三、〇〇經濟市況（大連）
三、四〇經濟市況（東京）
四、〇〇ニュース（東京・新京）
四、三〇經濟市況（大連）
引續き新京秋季リーグ戰野球實況＝西公園グラウンドより中繼＝
五、二〇ニュース（鮮語）
講演（鮮語）＝野球なき場合放送＝
不正業者の整理と其の影響　協和會主都本部員　金[illegible]載
—雨天順延—

夜
六、〇〇天然記念物めぐり（二十八）（函館）＝野球なき場合放送＝
阿寒湖の幽蹊　函館高等水産學校教授　菅野利助
六、三〇子供の時間（東京）歌物語　廣瀬中佐　大和田建樹作詞　納所辨二郎作曲　物語　木村正夫　獨唱　長谷川堅二　伴奏　若葉管絃樂團
六、五〇コドモの新聞（東京）村岡花子
七、〇〇ニュース（東京）ニュース・告知事項・番組豫告（新京）
七、三〇管絃樂（東京）交響曲ロンドンハイドン作曲　日本放送交響樂團　指揮　ヨーゼフ・ローゼンシュトック
八、〇〇箏曲（東京）雨夜の月　箏　高橋榮清
八、二五浪花節（同）廣澤虎吉
九、〇〇時事解説（同）
九、三〇時報・ニュース（東京）ニュース・告知事項・氣象通報・番組豫告（新京）
一〇、一〇ニュース再放送
一〇、三〇北滿の時間（哈爾濱）
一一、〇〇滿語の時間

箏曲　雨夜の月
後八時（東京）　高橋榮清さん

落花の雪にふみまよふかたのゝ春の櫻狩。紅葉の錦着て歸る。嵐の山の秋の暮。實にいたはしや俊基卿。身はとらはれの籠の鳥。のがれがたなき恩愛の。我古郷の妻子をば。ゆくへもしらずおもひおき。はるけき旅に出で給ふ、心のうちぞ哀れなる。うきをばとめぬ逢坂の、關の清水にうつらふ影の。末は山路を打出の濱。瀬多の長橋うち渡り行きかふ人に近江路や夜をうねの野になく田鶴も。子を思ふかとかなしまれ。時雨もいたく森山の。葉末の露に袖ぬれて。風に露ちるしの原や。鏡の山はありとても。涙に曇りて見えわかず。物を思へば夜の間にも。老蘇の森の木がくれに。都のそらやへだつらむ。あらはづかしや我姿。浮世の夢はかり衣の。不破の關屋はあれはてて。なほ漏るものは秋の雨。いつか此身の尾張なる。熱田の社ふしおがみ。しほひに今や鳴海潟。かたむく月に道見えて。濱名の橋の夕汐に。引人もなき捨小舟。しづみはてぬる身にしあれば。誰かあはれと夕暮の入相なれば今はとて。池田の宿に着き給ふ。元暦元年のころかとよ重衡の中将が。東夷のためにとらはれて。ここに宿を求めしに。東路の羽丹生の小屋のいぶせきに。古郷いかに戀しかるらむと。長者のむすめがよみたりし。そのいにしへのあはれまで。思ひ殘さる涙なり。旅館のともしびかすかにて鷄鳴曉を催せば。四馬風にいななきて。天龍川をうち渡り。小夜の中山過ぎ行けば。いとゞ哀を菊川のなみだの流くみかねて。やがてぞ越ゆる大井川。島田藤枝を後になし。岡部の眞葛うらがれて。物哀なる宇都山。むかし在原の業平が。東の方に下るとて。よみし心も清見潟。都に歸る夢をさへ通さぬ浪の關守に。いとゞ涙を催され。向ふはいづこ三保が崎。興津蒲原うち越えて。富士の高根に立つ煙。上なき思にくらべつゝ。明る霞に松見えて。うきしまが原を過ぎ行けば。おりたつ田子の自からも。浮世をめぐる車がへし竹の下道ゆきなやむ。足柄山をこゆるぎの。いそぐとしもはなけれども。日數つもればその日に鎌倉にこそ着きにけれ。

學藝

秋の影を引く男（一）

右田卓二

私は大學の階段を三階段まで昇つて行つた。窓外には段々黄色く色づいて來る銀杏の梢が二階を伸び上り三階の窓までとどき、外は澄んだコバルト色の秋の空なのであるが窓が長方形に高く狹いのでその靜かな外光は此の階段までとどいてゐなかつた。その中を黒いサーヂの詰襟を兵隊みたいに着た學生達がひつきりなしに登つて來た。だが此の黒い上昇の中には良く見るとキチンと着た者もあり大きすぎる出來合ひの洋服の襟から棒の樣に頸を突出したものもある、言ふ有樣で、─何か夫々の人生に對する態度、衒氣、眞面目、無邪氣、英雄的崩れ─そして時たまには失意を暗示してゐる樣であつた。然しその型にはまつた人間達の流れは全體として見るとやはり囚人の樣に暗い。何のことないアカデミツクな學問の切賣場ではないか。そして此處をのぼつて來るものは少くともそれに從つて心の形を定めて來てゐるのである。

私は教室には入り机の上にノートブツクを投出すと階段の手摺に來てバツトを吸ひ始めた。煙草の煙は高い建物の一番上でこれ又何のことないそれこそ落着いてゆつくり立昇つてゐた。……

其の階段を學生達の中に雜つて薄卵子色の洋服に黒の靴をはき、手にパナマ帽を兩手で皮帶の邊にかかつた男が登つて來たのである。肩幅の狹い全體として虛弱な感の被へない、顏が急に肩の邊から上に背伸びした恰好であつた。彼は三階につくとほつとした樣に立止り、其處にゐる二三人の學生達の方を物問ひげに眺めた。─その病んだ目がふと私にぶつかると相手は私に近寄つて來た。何だらうかと私は思つた。商人か小役人か外交員か、何れにしても此の男は人生に卑屈な思ひをしなければならぬ種類の男だと私は考へながら安心して近寄る彼を體で待つてゐた。

「ちよつとお訊ねしますが○○教授の教室は何處でせうか？」

「ええ、此の部屋で今から○○教授の授業があります」

「するとSと言ふ學生の方を御存知でありませんか？」

「S？　Sと言ふと僕ですね」

「はあ！　あなたですか！　これは〳〵」

瞬間彼の心配氣な目は急に嬉ばしげになつた。私は私を尋ねて來た男を新たにじろ〳〵眺めたのでる。「─實はあなたのお世話になりたいことがありまして尋ねて來た譯ですが。え、此の人が紹介してくれましたので……」

名刺を見るとそれは法科生である友人のMであつた。

「はあ、お知り合ひですか？」

「いや、それが今日紹介していただいたのですが……」

「え？」と私は强く聞き返した。すると彼はあわてながら説明し始めた。赤い貧弱な髯がくつついた唇を動かして黄色い齒が見え、（私は話す時彼が唾液をとばすのを發見した。）目尻の赤くなつてゐる兩眼が絶へず黒い鐵線の眼鏡の下でまばたいた。視力が弱いのであらう。

「實は私は飜譯していただく人を探しに今日蒲田からわざ〳〵やつて來た譯ですが、圖書館前で此のMさんに話しかけてフランス語なら友人にSと言ふのが居ると紹介して下さいましたので、それから事務室に行つてあなたが、此の授業に出て居られることが分りましたので。……事務室でも飜譯の話をしましたらそれは本人も喜ぶだらうと言ふことでした」。

「─と言ふと、何の飜譯なんです？」

「え、實は……」と言いながら彼はパナマ帽の下にあつた風呂敷包を急いで手摺の上に置いて中の原稿を取り出した。私は十月と言ふ氣候を思ひ出し此のパナマ帽をじつと見てゐた。「これなんですがね。今日は一部分持つて來たに過ぎないのです。─浮世繪の辭典なんですよ」。

すると急に私は彼の表情の中にある卑猥なものがはつきりうなづけた。

其處に教授が階段を昇つて來た。彼は私の前で教授にお辭儀した。私は二時間後玄關と來てくれる樣にと言ひ教室には入つた。

浮世繪辭典の編輯者。しかもそれをフランス語に飜譯する─彼が博士であるはずがない。すれば市井の研究家であらうか？　然しあの服裝、あの崩れ方に私は何か自己を持つた心の張りを感じなかつた。少くともそれ程の仕事をしてゐるなら持つて居るべき自尊心の動きがなかつた。私は此の卑屈な男と浮世繪の研究家とを結び付けるために樣々の苦心をつづけたのであつた。

支那映畫界に於る　ソヴエート映畫的要素（三）

矢原禮三郎

四、五年だつたか、ソヴエートのカルカチユア映畫「南京虫は家族でない」が上映されたがこれと同じ傾向に立つ支那映畫が最近聯華影片公司の滑稽物短篇として封切され、いたく私の心を打つた。題名は忘れて了つたのだが、何でも筋は二人ののらくら生活者が安價なイメージの中で、いじらしくも、理想生活を追はんと焦躁したが、思ひなほしてやはりまた生活の故郷が戀しくなつて行く過程を描いたものである。支那映畫にしては珍らしく生活的アンニユイの横溢した映畫作品であつた。

「南京虫は家族でない」は、人間を使つての新しい生活到來を暗示する積極的なテーマを持つてゐるが、支那映畫の方は既に述べた如く、人間を使つて、カルカチユア映畫の持味を出し、その反對の消極的なテーマである「南京虫は家族でない」にも新しい生活への積極的意思をかばほうとする生活的アンニユイは作品全體に滲んでゐたし、その他撮影描寫の方向にも前記支那映畫との要素的一致があつた。

一昨年の長篇支那映畫は「大路」と呼ばれる作品であつたが、之の中に挿入されてゐる「秘們闘路的先鋒」なる歌曲はよかつた。秋田雨雀も「朝日」で大衆行進のリズム高い作品として讃評して居たが前半の道路建設に從事する勞働者の勤勞描寫の効果的運びと共に一際凄まじい意慾の世界を見せつけられる思ひがしたのだつた。この作品をみた人は異口同音に、後半のテンポののろさと內容的冗談を非難してゐたが、私も同感である。前半にフレツシユな映畫手法を見たために、餘計この感を深くしたのかも知れない。とまれこの映畫作品の集團映畫的形態への肉薄は、大まかなソヴエート映畫的要素として擧げられるに足るものであつた。

今年の初め頃「浪陶沙」と題される映畫を觀たのであるが、文明社會に對する諷刺がよく滲み出てゐた。筋は一人の罪人が、とある汽船にひそみ、脱走を試みるのであるが既にその汽船には、彼を捕へんとする探偵が、乘り込んでゐた。航行中の或る晩、汽船は暴風雨のために沈沒し、罪人と探偵は奇しくも、孤島に流れ着きわづか計りの水を賴りにこの二人は生延びやうとしてゐた。次第に俗念はこの二人の頭から遠ざかり、敵視態度はおろか、かすかな生への喜びの中で友情は日增しに深まつてさへ行つた。遂にる日、沖合はるけく行き過ぎる船影を探偵は認め、聲限りに呼んだが、その儘應答がなかつた。最後迄文明社會への未練を捨て得なかつた探偵。そしておのが逞しい行動に、寧ろ滿足してゐる反逆の罪人この良き對照を持つて來たその脈々たる生命力に滿ちた映畫風貌は、かつて日本に上映されたソヴエート映畫「生きる」の氣魄を思はせ賴母しい感がした。こゝでは條件的要素は擧げられない迄も、氣魄のそれが、本質上の最も重要なソヴエート映畫的要素として强調されねばならぬ。

以上例證としてのソヴエート映畫的要素を擧げ來つたが右要素の比較的たつぷりした作品をピツクアツプして大體餘す所がないと思ふので、この稿を一先づ終らうと思ふ。

倚この支那映畫に於けるソヴエート映畫的要素は、自然發生的のものであるか、或は影響的なものであるかに對する檢討は、こゝしばらくは讀者と共に宿題にして置かうと思ふ。

バクゲキ　智慧のない「話」

─內容低下著しし─

雜誌「話」の九月號を通覽して、この雜誌ほど知識的要素を持つた記事の少のも稀れだらうと思つた、ニユースの書き直しや、噂の傳へ聞きみたいなものはある、しかし殆んどわれらに敎へるやうなものは何も無い。近頃この知性喪失振りはます〳〵著しいやうである。むろん「話」を讀むものが、思想的なもの研究の成果などを求めてはゐなからう。それにしてもこの內容低下振りは、文藝春秋社として餘りに智慧の無いやり方ではないか。一言適かに文句を言つて置いて、內容の更新をねがはう。（T・T・R）

新道小唄

葭原雨京子

銀座新道　乙女の都　すいな細面　かのこの帶に　招く振り袖　御所模樣

戀は末廣　銀座は要　男心の氣まゝな風に　馴れてうたつて　夜を更かす

町のかなたに　夕日が落ちて　並ぶネオンの　靜かな色に　そつと頰笑む　糸きり齒

新京短歌會例會

日時　八月廿八日（土）午後七時
場所　中銀クラブ
會費　五十錢
詠草　一首（短歌會詠草と明記、廿七日まで當學藝部宛）
同好者の出席歡迎

ノート

ママ…新人右田卓二氏の第二作は「秋の影を引く男」、構築描寫の的確と精力絶倫振りは貧寒の當地文壇に於いて珍重すべきであらう、氏が更に新しき熱意を持つて「滿洲」を描く日が期待される

ママ…例によつて、季節向きの隨筆を諸氏に依賴してをいた、露拂ひは奧一氏の「秋と長屋のお神さん」、寛城子の秋景を敍して玲瓏、味ひ深き一文である、明日から掲載する

ママ…新京短歌會例會は別掲の通り開く、秋季大會といふことにしたいから、澤山出席して戴くことを、次手に願つてをく（寒太郎）

書架

本欄紹介希望の新刊は本社編輯局宛一部御送附相成度し（係）

▲第一回訪日宣詔記念美術展覽會圖錄　本年五月開催された訪日宣詔記念美術展の出品書畫寫眞を收錄したもの、良き記念物たるものであらう、四六倍判百十八頁に選者の感想其他の附錄を添へてゐる（新京北安路一一二、滿洲國通信社、三圓）

△同盟旬報（八月上旬號）四六倍判八十四頁の中に五段組小活字で內外各方面のニユースを採錄、各方面の動きを記錄してゐる（東京市京橋西銀座七丁目一、同盟通信社、三十五錢）

△精華（一月十四號）「哀中華」「佐々木最高顧問榮轉所感」その他（治安部）

明快なる眼科治療劑

スマイル

眼は解剖學上、腦の一部と見做される人體最高の器官で眼の故障は直に腦に影響し、吾人の活動能力を低下させます。實に「眼は人生を支配する」と申すも過言ではありません。

現代人は、然しながら、強烈な光線の刺戟、塵埃、煤煙、交通頻繁な街頭の歩行、空氣の汚染せる場所に於ける長時間の勞働、執務、讀書勉強等により日常絶えず眼病菌感染、視力衰耗の危機に曝されてゐるのです。

優秀なる眼科藥の選出、常用によつて、不快な眼病を豫防し、視力の强化を圖ることは、衛生思想に目覺めたる現代人相互の重要な責務でなくてはなりません。

スマイルは斯樣な現代生活の要求に應じて創製された、最も正しく最も合理的な眼科藥で、處方極めて適確、製劑行程飽く迄嚴格なるため、藥液中にアルカリ成分の遊離を見る等のこと些もなく、絶對至純の澄明度を保持し、常に强力、迅速なる藥効を發揮する事實は夙に中村・仁藤兩博士の御推奬を勝ち得て居る處です。

本劑はその適確なる殺菌・消炎・收斂作用により下記の如き各種眼疾の際一日數回の點眼にて克く卓効を奏すると共に日常連用すれば眼に榮養を與へて、視力を强め、充血溷濁を除いて明澄な瞳を調へ、然も副作用、習慣性等を來す虞の絶無な現代人向きな高級眼科藥です。

斯んな状態は絶對に起らぬ
いつも新鮮なこの澄明さ！

容器に對する科學的な用意

スマイルの容器は特殊の褐色硬質硝子と、不溶性で腐蝕の出來ぬグツタペルカ口栓を用ひて作られてゐますから、保存携帶等により藥液が變質し、アルカリの遊離を起して汚濁したり、夾雜物の混入する樣な虞は絶對にありません。御使用の際銀色の蓋を外し、容器の尖端を目の近くに持ち來し、直接眼に觸れぬ樣注意して、食指で底を輕く打てば、獨特の自働點眼式裝置により一滴宛、快く衛生的に點眼されます。

結膜炎 (はやり目)目の中がゴロゴロし眼瞼が腫れ眼脂や涙が溢れる時―スマイル一日數回の點眼で速く快復します。

トラホーム この執拗な傳染性眼病も眼の清潔とスマイルの常用で豫防され 罹患の際も此方法で著しく治癒を早めます

角膜炎 (はしり目、かすみ目)黒眼にシヤが出來、眼が曇み眩しくてならぬ時――スマイルを點せば速に輕快します

眼精疲勞 (つかれ目)仕事の際眼が疲れ易く視力が鈍り頭の働が衰へる時――スマイルを點せば眼も頭もハツキリします。

眼瞼炎 (ただれ目)眼瞼や眼尻が爛れ痛んで[illegible]く不愉快な時――スマイル點眼を勵行すれば快く美しく恢復します。

充血 はれ目・ち目等一切の眼の充血溷濁にスマイルを點せば直ちに明澄な瞳と輕い視力を回復し氣分も爽快となります

(定價) 二十五錢・四十五錢
全國藥店・百貨店藥品部にあり

總代理店 株式會社 玉置商店 東京・大阪

3-A-10

日本學術大會 けふ特別講演開催
午後三時、西廣場俱樂部に 四權威が蘊蓄を傾く

既報、學界の豪華版日本學術協會第十三回大會の最終日程新京に於ける一般市民公開の特別講演會は愈よけふ午後一時五分着列車で一行五百名餘の來京の後、午後三時より會場西廣場滿鐵社員俱樂部に於て華々しく開催する事となつた、講演者は各々斯道の最高權威者としてその名聲世界的である、既に知られてゐる如く東北帝大總長本多博士は我國最初の文化勳章を拜授した金屬材料研究の世界的最高權威者であり東京帝大工學部長平賀博士は多年帝國海軍の造艦計畫の重責に任じ世界に誇る無敵艦隊を今日あらしめた貢獻者として、また東京帝大教授青木博士はわが國に於ける兵器研究の權威者で且最新精密工學の提唱創始者である これ等學界最高峯の權威者が時局柄最も適切なる演題を提げて公開演壇に獅子吼せんとする此の絕好の機會は市民として又逸してならないものである、主催者も多數の參會聽講を希望してゐるもので盛會を豫想されてゐる

藤井中將戰死に 國務總理、總務長官から弔電

藤井中將の壯烈なる戰死に對して張國務總理ならびに星野總務長官は廿六日午後一時奉天靖安軍留守司令部宛左の如き弔電を發した

張國務總理

藤井中將の壯烈なる戰死を悼み謹みて英靈の御冥福を祈る

星野總務長官

藤井中將の壯烈なる殉職の報に接し痛恨の至りに堪へず、謹みて深甚の弔意を表す

驛前馬車溜場 新裝工事

新京驛では相も變らず驛前馬車溜り場の清掃美化には頭を惱ましてゐるが馬車夫、苦力等が折角掃き溜めたものを闇りに散らして目も當てられぬ不潔振りに入京旅客も國都第一歩の惡印象を殘すのに鑑みて取敢ず保稅貨場前の穢い木柵を撤去して新しく鐵柵を設け、目につかぬ場所に馬車夫苦力專用の便所を新設することゝして木柵撤去費及び鐵柵新設費豫算は既に本社から承認があつたので近く着工の豫定である

式典準備のため 大同公園は當分閉鎖

國都建設局は近く開催される國都建設記念式典の準備の都合上大同公園の一般市民に對する開放を八月中限りとし、九月一日から當分閉鎖することゝなつた

市民にも感謝狀

去る七月十八日新京市民は新京神社に參拜皇軍の武運長久祈願祭を執行しその席上全員の決議に基き第〇艦隊司令長官宛感謝文を發送したるに對し二十六日長谷川第〇艦隊司令長官から市民宛次の如き鄭重なる謝狀が到着した

拜復今次の事變に際し早速熱誠溢るゝ激勵慰問を賜り感激に不堪候將兵一同其の職責の愈よ重大なるを自覺し堅實なる銃後の護りに信倚し元氣旺盛任務達成の萬全を期居り候先は不取敢御禮申述度如斯御座候 敬具

昭和十二年八月

第〇艦隊司令長官 長谷川清

新京市民御一同樣

新天地商業地域 土地賣却開始
一日から建設局で取扱ひ

國都建設局では今回東門外新天地の商業地域(綜合歡樂場)國有土地の賣却を開始することとなつた、同地域は國都建設計畫により綜合歡樂場として特に指定された地であり貫市街に點在する各等妓館は來る十月末日までに一齊同地に移轉するほか各種の大衆娛樂機關も開設されることとなつて居り東大橋並びに貫市街に連接して四圍交通の便多く將來の一大歡樂場として發展を囑望される好地域である、今回賣却されるのは一號地から七號地までの七種合せて五百七十一筆であり一筆の面積は最小五十坪餘、最大百二十七坪、賣却單價は最低坪十五圓最高二十圓、賣却開始は九月一日、賣買契約締結の日より二ケ年間に土地利用計畫を完成せしむることとなつてゐる詳細は國都建設局土地科(電話二―四二八九)に問合されたいと

長谷川司令長官 記者大會に謝狀

さきに新京に開催せる全滿記者大會の決議により全滿記者聯盟が駐支陸海皇軍に宛、感謝文を送りたるに對し二十六日長谷川第〇艦隊司令長官より同大會代表宛左の如き鄭重なる謝狀が到着した

拜復 今次の事變に際し早速熱誠溢るゝ激勵慰問を賜り感激に不堪候、將兵一同その職責のいよ〳〵重大なるを自覺し堅實なる銃後の護りに信倚し元氣旺盛任務達成に萬全を期し居り候先は不取敢御禮申述度如斯御座候 敬具

昭和十二年八月

第〇艦隊司令長官 長谷川清

在滿記者會代表殿

たぎる愛國熱誠
昭和製鋼所、星野長官等より 續々として大口獻金

滿洲國要路大官の關東軍への獻金は續々と屆けられ皇軍の活動に力強い銃後の熱誠振りを示し膺懲支那軍の意氣は將に衝天の勢ひを示してゐるが昭和製鋼所社長小日山直登氏は廿六日午後六時關東軍司令部に植田司令官を訪問、防空兵器費として昭和製鋼所より五十萬圓を又鞍山國婦支部及び協和會分會より七千圓を獻金軍當局を感激せしめた、また星野總務長官は同日一千圓を、又開業匆々の映畫協會も百五圓六十錢を夫々獻金した

潤祺、溥傑兩中尉近く歸國

【船橋國通】習志野騎兵學校教導隊に勤務中の滿洲國皇后令弟潤祺中尉は廿五日その業を終へさせられ九ヶ月上旬夫人、令息等と共に歸國される、なほ氏と共に千葉步兵學校に留學中の滿洲國皇帝令弟溥傑中尉夫妻も同時に歸國される筈である

友邦皇軍へ獻金 茂林郵局から本社寄託

二十六日午後新京郵政管理局から本社に送られた書留便によると當局管內茂林郵局より別紙姓名表の通り友邦日本國軍慰問金送付致したるについては貴社宛御廻送申上候間取次獻金方可然御取計願度云々とあり金二圓に姓名醵金額が左の通りあつた

陳肇新(局長)一圓〇〇錢、馮樹森(信差)三五錢、劉明馨同三五錢、周乃銘(力夫)三〇錢、計二〇〇

本社募集、馬糞驅除案 けふから實地に試驗
一般の檢討を要望

さきに本社主催、新京警察署、首都警察廳、滿鐵新京支社、新京特別市公署、首都乘用馬車組合後援で懸賞募集した馬糞驅除案は百數十點の應募あり、主催、後援兩者並に關係者立會で嚴重審査を行つた結果直ちに使用出來得るやうな完全なものなきため良案數種を選び馬車組合に於て長所を折衷して工夫中であつたがこの程出來上つたので二十六日午後一時より滿鐵消防隊に於て

新京署平岡部長、首都警察廳星野義政氏、市公署四枝均氏、同浮洲寒氏、滿鐵衞生縣高橋傳氏、馬車組合秋山茂樹氏、本社上田代表、伊藤氏出席

再度審査を行つた結果愈よ市內百余台の馬車に取りつけ實地使用して見る事となつたがこれが完成の曉は國都多年の惱みの種馬糞が完全に路上から姿を消すことゝなり衞生上美觀上また經濟的にも貢獻するところ多い大事業と各方面から期待されてゐる、なほ近日中に馬車にとりつけたのを見た一般市民は各自の問題として八方より觀察して良案又は改良すべき點を研究し本社宛投書されたい【寫眞は考案された馬糞受器】

3A—2 電業、電々に勝つ
獻金野球第三日目

獻金野球第三日電々對電業戰は雨の爲め延期されて居たが雨も霽れ上つた秋晴れ爽やかな二十六日午後四時半より西公園球場に於て大辻(球)內山、赤木(壘)三氏審判のもとに電々の先攻で開始された 勝頭右翼失に出た櫻井、村上の二遊間安打で生還一點を先取し三回に中飛に出た稻田、村上の左飛で生還又一點を加へたのに電業八回迄得點なく意氣銷沈の態であつたが八回裏に緒方先づ四球に次いで針原死球に出で二走者の時杉田の投前をつかんだ投手投球に迷ひ遂に杉田に一壘を與へ滿壘となり杉谷の中飛で緒方生還、續いて梅本の犧打に針原生還同點となり俄然はりきり應援團の聲援またもの凄く戰のうちに九回に入り延長戰を思はせたが裏に二死後二走者の時杉田の長打見事に左前安打となり緒方生還して一點をリードし形勢逆轉きはどいところで電業が勝つた

△スコアー

	電々	電業
	1	0
	0	0
	1	0
	0	0
	0	0
	0	0
	0	0
	0	2
	0	1
計		3A—2

電々	打數	得點	安打	犠打	盗壘	三振	四死	失過
2 福田	4	1	0	0	0	1	0	0
7 櫻井	4	1	0	0	0	0	0	0
5 鈴木健	3	0	1	0	0	1	1	0
8 村上	4	0	1	0	0	0	0	0
4 小林	4	0	2	0	0	0	0	0
3 永野	3	0	0	0	0	0	1	0
9 仁木	4	0	0	0	0	0	0	0
1 鈴木勝	3	0	0	0	0	0	1	1
6 近藤	4	0	0	0	0	1	0	1
計	33	2	4	0	0	3	3	2

電業	打數	得點	安打	犠打	盗壘	三振	四死	失過
7 針原	4	1	0	0	0	1	1	0
5 杉田	5	0	3	0	0	0	0	0
4 杉谷	3	0	0	0	0	0	1	0
3 梅本	2	0	0	1	0	0	1	1
6 江藤	2	0	0	0	1	0	2	1
8 黒明	4	0	0	0	0	2	0	0
2 吉井	3	0	1	0	0	0	1	0
1 西川	4	2	0	0	0	0	0	0
9 緒方	3	3	1	0	0	1	1	0
計	30	3	5	1	1	4	7	2

三角關係に惱んで ダンサー服毒
キャピタルの磯邊嘉壽子さん

梢にサラサラと鳴る葉ずれの音に秋の哀愁が忍びやかに訪れると共に家出、心中、自殺と秋は寂しとか人の言ふ爭はれぬ季節を反映する事件が增加して來たが廿六日ジャズに浮かれ踊るダンサーの悲戀自殺未遂事件があつた、三笠町ダンスホールキャピタルのダンサー本籍東京市澁谷區世田谷町キャピタル宿舍居住の磯邊嘉壽子さん(三〇)は同じく同ホールにバンドとして働く武村專一氏(四〇)と內地時代から情交を結び深く言ひ交した仲であつたが、武村氏には既に七年も連れ添ふ妻菊枝さん(三三)があり戀の三角關係に家庭は常に風波が絶えなかつた

この憂悶を逃れるべく武村氏と嘉壽子さんは昨年九月相携へて新らしき地滿洲に渡り來京したが日ならず夫を慕ふ菊枝さんも來京武村氏は妻女菊枝さんを富士町三丁目二番地同和俱樂部內に居を構へ嘉壽子さんはキャピタルのダンサー部屋に住むことになつた

今日まで幾度か別れ話しも持ち上つたがせかれゝば募る戀の情である、別れるべくもないつのる戀情に嘉壽子さんは遂に武村氏の胤を宿し姙娠五ケ月となり最近ホールも休み勝で欝々とした生活にあつたがやがて生れる子供の將來身の行末を思ひ又愛する人とはどうせ添へない身をはかなんで死を決しダンス教師野口某氏宛の

「色々お世話になりました、どうせ妾は生きて行けない身です、武村の妻として死んで行きます」

と便箋二枚に簡單な遺書を認め廿六日午後六時頃カルモチン及睡眠劑を服用して死を選んだものであつた、その日同じ部屋にゐる同僚は十二時前になつても起きて來ないあまりによく眠る嘉壽子さんに不審を抱きゆすり起して見たが何等の應答もないので驚ろいて附近順天病院に擔ぎ込み診察の結果初めて服毒と知つた嘉壽子さんは目下同院に於て加療中であるが可なり重態で面會は謝絶されてゐるも生命はとりとめるとのことだ

家出藝妓發見

既報梅ヶ枝町一ノ一〇三樂園抱藝妓三樂こと舟越壽(二五)は廿四日午後六時頃無斷外出行方不明となつたので新京署に屆出で搜査中であつたが二十六日午後一時頃東五條通自動車運轉手渡邊某宅にゐるところを入島通派出所警察官が發見本署に連行の上嚴重訓戒を與へて釋放した

名所の圖案配した 煎餅や風呂敷
新京みやげ賣出し

新京みやげ物商組合では觀光協會と協力して新京の名物、おみやげ品の選定作製に苦心しつゝあるがこの程協和會池部畫伯の考案で忠靈塔、南嶺寬城子等新京名所の風景を描き美麗な風呂敷に染めまた忠靈塔その他を圖案化して煎餅をつくり國都煎餅、忠靈塔煎餅と名づけておみやげ品として賣り出すことになつた

家計調査懇談會

國民生活改善及び濟貧、防貧等の社會問題の基本資料を得べく七十圓以下の俸給生活者に對し本年四月から來る九月までを限り國務院統計處及び市公署が實施中の家計調査に對する圓滑正確を期するための家計調査懇談會は二十六日午後三時から大經路兩級小學校音樂室にて開催、主催者側から市公署解調査股長、吳統計處員並びに月々の家計簿を手にした記入者約百名が出席解股長の挨拶に次いで吳處員から注意事項の說明があつて記入上の質疑應答に移り解股長は家計簿を總括的に見て調備品の書き落し役所の差引金額及び贈物の使途脫落等が多いと記入上の諸注意を與へ種々懇談あつて同四時有意義に散會した

市立醫院招宴

市立醫院では地元出入記者を廿四日午後七時千島に招待し懇親宴を張つたが山口院長、桑名事務長に記者側七名を加へて盛會であつた

アジアビール試飲會

今春奉天の工場設備を完成し去る七月中旬から製品を賣出すに至つた亞細亞麥酒株式會社では二十六日午後三時から軍人會館に日滿各方面代表數を招待、アジアビール試飲會を開催、森脇社長の挨拶後數番の餘興あり盛會であつた

中西眞氏送別會

報知新聞新京支局長中西眞氏は近く本社へ歸還することゝなつたので在京新聞通信關係の五日會員は二十五日夜公記飯店で送別宴を催した

甲斐巡査夫人

新京署兵事係巡査甲斐大三郎氏夫人郁子さん(二四)はかねて病氣中であつたが二十六日午前八時頃心臟痲痺で死去した、尙告別式は二十七日午後二時から睨町太子堂で擧行せられる

フレンソーダ

大經路淸水警察署長が何時の間にか髭を蓄へた▼すつかり變つた風貌におつたまげて「立派なもんですね」と賞めると「いや〳〵目下培養中でね」と特に培養と云ふ言葉に力を入れて椅子にふんぞり返へつたが、一署の長として貫祿また一段の照り榮えである▼近く大經路警察も同治街警察署と名乘つて同治街の一角に新築される、今のお粗末な舍屋を出て立派な署長室に收まる淸水署長だ、髭の培養もそろ〳〵必要だがさてどちらが先きに變成するか

天氣氣温

けふの天氣 北の風晴れ
日の出 前五時五五分
日の入 後七時二四分
月の出 後九時五一分
月の入 前十一時四六分
きのふの氣溫 最高 一九度六 最低 一二度四

義人長七郎（二十四）

（禁上演映畫化）中川雨之助
竹枝一郎畫

幻の女（七）

巾着切のことなんか長七郎はあまり気に留て居ませんが、家来の彦兵衛の方は、そのまゝでは納まりません。

「己れ、不届き至極の巾着切め!」

といふので、いきなり猿臂を伸ばして、市松の首ッ玉をとらへようとしました。揚心流柔道の一手でやられたら、それこそ一トたまりもありません。

すると女が、素ばやく市松を後ろに囲ひました。

「その御腹立は御もつともですけれど、品物もかうして元へ戻つたことだから、けふのところは、あたしに免じて、どうか堪忍してやつておくんなさい」

だが、彦兵衛は、不承知です。

「イヤ許すことはまかりならん、諸人助けのため、是非とも役人に引渡してくれる!」

すると、長七郎が、手をあげてそれを制しました。

「彦兵衛待て」

「はッ」

勿體らしさうに取巻いてゐる群衆の手前もあるし、一つには又た、女の落つき払つた態度も感心だし、やつぱり女の顔も立てゝ、放してやつた方がいゝと思つたのでした。

「ゆるして遣はせ」

といはれてみると、主命なれば仕方がありません。彦兵衛は、せつかく固めた握り拳を引ッこめる。

女は、長七郎に、ちよつと目禮をして、そして市松を振りかへり、

「それ御覧。許してやるとおつしやるんだよ。お情深いお武家さまで仕合せ。悪くすれば首と胴との生き別れさ。これに懲りて、以来は、もう少し向う先を見ることだねえ。サア／＼、またもや役人の睨らぬうちに、早く消えておしまひな」

さう言はれたのを幸ひに、市松は、

「へイ、有難うございます」

と禮の言葉もそこ／＼に、其まゝ人混の中へ、姿を消してしまひました。

茶袢纏の素袷に、細い眞田帯を尻下りにキリヽと締め、素足に麻裏草履をつッかけた、色の小粋な色の白い、ちよつと小意気な男といふのが疾風の市松の風采でした。

肝腎の市松が逃げてしまつたので、あたりの群衆は「芝居も、これでモウおしまひだ」といつたやうな顔をして、ゾロ／＼と散つて行くのでした。

そして、その群衆たちは口々

「どうですい、好い度胸の女ぢやありませんか。どうせ普通の代物ぢやありませんぜ」

「第一女ッ振がいゝや。小股の切れあがつた、いまが油の乗り盛りといふ、意気な年増だ」

「暗がりで、顔はよく見えなかつたが、相手のお武家も美い男ッ振だつた。美い男に美い女、これから先がどうなるか、なんだか気にかゝるぢやねえか。はゝゝゝゝ」

などと、噂をしながら行くのでした。

女は、彼の鐵系のお鐵だつたのです。

そのお鐵は、ヒョッコリ茲へ来合したといふのでなく、實はもうだいぶん前から長七郎主従のあとを尾け廻つてゐたのです。

なんのためにあとを尾けたか?

この間の晩、鎌倉河岸で彦左衛門や一心太助に出合つたとき、二人は長七郎の屋敷からの歸りがけだといふことを、よく知つてゐたことといひ、兎に角この女の行動は怪しいと、いはねばなりません。

JM-20